

令和6年度 第2回静岡市生涯学習推進審議会（第8期第5回）

日時：令和6年11月12日（火）午前10時00分～午前11時30分

会場：藁科生涯学習センター 第2集会室

次 第

- | | | |
|---|------------------|-------------|
| 1 | 開会 | 10：00 |
| 2 | 議事 第3次大綱推進計画について | 10：00～11：00 |
| 3 | 施設見学 | 11：00～11：30 |
| 4 | 閉会 | 11：30 |

令和5年度生涯学習推進大綱推進計画 施策評価

資料1-1

総合評価

A

・生涯学習施設の利用者数が前年度に比べて約10%増加しているほか、「こ・こ・に」講座全体の修了者数も5%以上目標値を上回ったことから、生涯学習に取り組む市民が増えていると考える。また、ハード面でも生涯学習施設の建て替えによる耐震性の改善など必要な基盤整備を進めることができたことから、おおむね順調に施策を推進できたものとする。

・今後、第3次大綱を推進する上では、地域や社会に求められる人材の変化を的確にとらえ、求められる学習ニーズに合わせた講座実施や人材養成を進めていく必要がある。併せて、市民が講座等で得た「学び」を活かしていくための自発的な地域・社会活動を下支えするなどの支援が必要である。また、デジタル化を推進することによる施設の利便性向上やオンライン学習のニーズへの対応にも取り組む必要がある。

施策の柱・リーディングプロジェクト

1 誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実



A

【評価点】

・文化、芸術に加え、環境問題、健康及び食育のような現代的な課題等の幅広い分野において、約60の事業を展開した。うち5つの事業では参加者が目標値に対し、15%を上回るなど、多くの市民に学習の機会を提供できた。

・大学連携講座(市民大学リレー講座)については、共通テーマを「まなびのリスタート」とし、現役社会人をターゲットとした講座を実施することで、仕事や就職に役立つ学習機会を提供できた。

【改善点】

・生涯学習施設の利用者数はコロナ禍の影響により大幅に減少したものの、令和5年度は約115万人と前年度から約10%増加している。今後も施設利用者を増やしていくためには、社会情勢の変化に伴う市民の学習ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく必要がある。

【リーディングプロジェクト①】

「大人の学び直し」を推進する「Reまなび」プロジェクト

※PICK UP 項目 生涯学習施設の「Reまなび講座」

・市民に身近な生涯学習施設で、変化の激しい時代に必要な知識やスキルを習得する「大人の学び」に資する講座を実施した。仕事や就職に役立つ学習機会を提供でき、受講者満足度についても約95%と、初年度の取組として、おおむね目標以上の結果となった。

引き続き、社会人としての新しい基礎力を身に付ける講座を実施し、生涯にわたって学び続ける市民意識の更なる醸成と学習行動への誘因を図り、市民の皆さんの自発的な学びを支援していく。

2 学びを地域や社会に活かすための支援の充実



A

【評価点】

・「こ・こ・に」講座のアンケートでは、各講座における修了者の「仕事や就職活動に活かせると思った人の割合」が平均99.4%、「シチズンシップが身についた人の割合」が平均98.5%とともに高い水準であった。

・多文化共生や障がい者への理解を深めるための学習など、多様な講座を設けることで、地域、社会の担い手となる人材を養成することができた。

【改善点】

・「こ・こ・に」講座受講者のうち、シチズンシップが身に付いた人の割合は多いものの、修了生の活動や活躍への結びつきが不明瞭であるため、修了生の活動、活躍及びチャレンジを下支えするなど支援が必要である。

【リーディングプロジェクト②】 シン「こ・こ・に」プロジェクト

※PICK UP 項目 静岡シチズンカレッジ・こ・こ・に推進事業

・「こ・こ・に」講座は令和5年度より、地域チャレンジ学部とキャリアチャレンジ学部に変更し、31の講座を開講できた。修了者数も全体で540人の目標に対し、582人(令和4年度は508人)に達し、アンケート結果も良好であったことから、総合的にみて地域や社会のために行動したいという高い意識を持った人材を養成することができたと考えられる。社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、これからの社会に求められる人材を養成するため、「こ・こ・に」を通じ、まちづくりを担う人づくりに取り組んでいく。

3 「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実



A

【評価点】

・デジタル環境の整備においては、8台のモバイルWi-Fiルーターを新たに整備し、整備台数を拡大できたことが、利用回数の増加につながった。

・Reまなびシンポジウムでは、「大人の学び直し」(リカレント教育やリスキリング)について考える機会とし、学ぶことの大切さの意識醸成や啓発ができた。

・施設の耐震化及び長寿命化のため、船越生涯学習交流館の建て替え及び薬科生涯学習センターの大規模改修を実施でき、多くの市民に活動の場を提供できた。

【改善点】

・生涯学習活動の相談件数が目標値に達しなかったものの、生涯学習施設利用者数が増加していることから、相談や支援等を経ず、自発的に生涯学習に取り組む市民が増えていると考えられる。今後も多くの市民が活動しやすいようニーズに合わせた多様な支援の充実を図る必要がある。

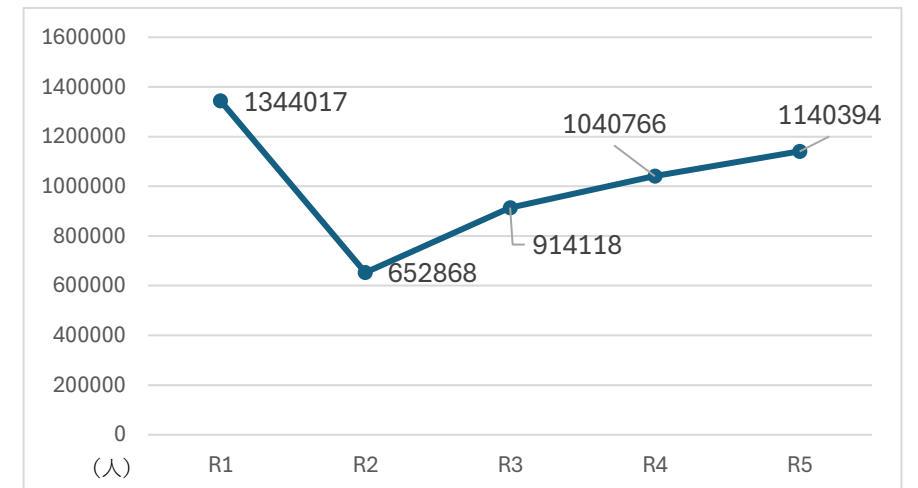
【リーディングプロジェクト③】 生涯学習DXプロジェクト

※PICK UP 項目 生涯学習施設デジタル化推進事業

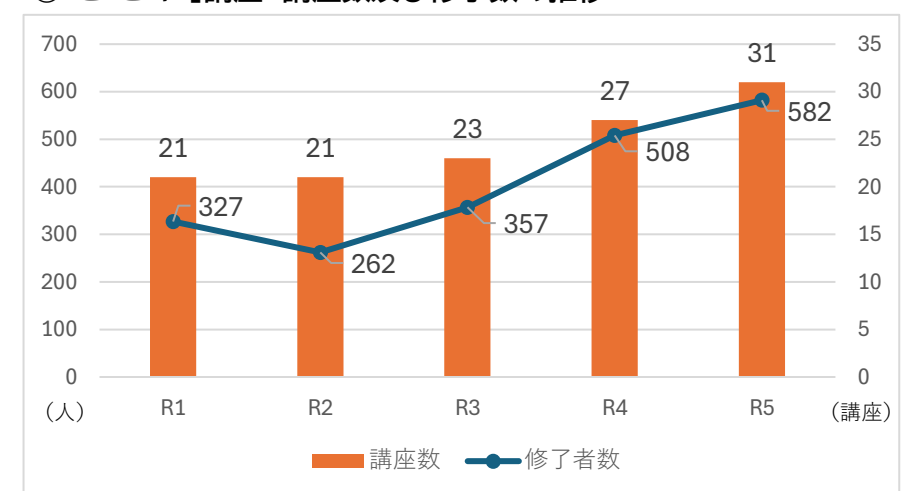
・モバイルWi-Fiルーターの設置によるデジタル学習環境整備は令和4年度途中から実施している。令和5年度についても引き続き整備を進めたことで、主催講座での使用及び貸館での貸し出し回数を併せた延べ利用回数において、目標値の150回を上回る183回(令和4年度は128回)の利用があった。今後も整備する施設や整備台数が増えることで、オンラインを使った生涯学習ニーズが高まっていくと思われるため、引き続き整備を進めていく。

参考資料

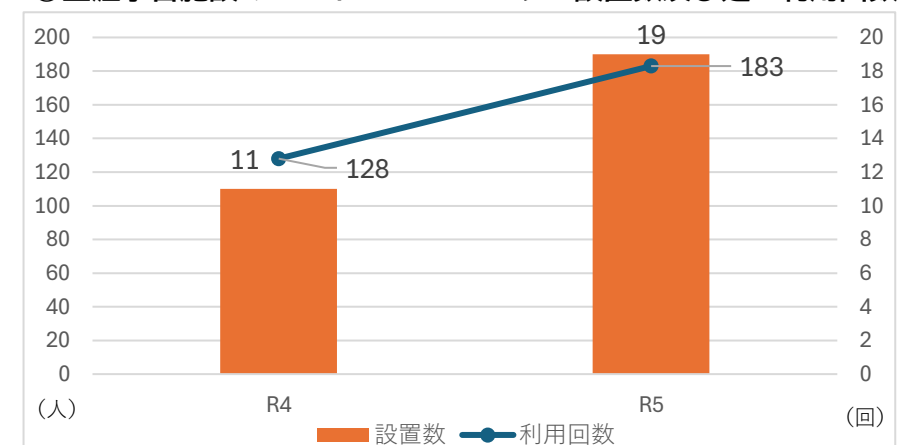
①生涯学習施設の利用者数



②「こ・こ・に」講座 講座数及び修了数の推移



③生涯学習施設のモバイルWi-Fiルーター設置数及び延べ利用回数



※Wi-Fiの整備は令和4年度途中からの実施

※評価方法

本シートの総合評価及び施策の柱・リーディングプロジェクトの評価については、推進計画掲載事業中の事務事業評価でのA評価数を参考にしつつ、それぞれの事業における実施状況や実績に基づくデータ等参考にし、総合的に判断してA、B、Cの3段階で評価した。(A:施策の進捗はおおむね順調、B:施策の進捗が停滞、C:施策の進捗には大幅な改善が必要)

令和5年度推進計画 事務事業評価

推進目標	施策の方向性 (大施策)	施策の取組み (小施策)	登載 事業数	R5年度の取組予定を基準値とした達成状況					進捗評価(施策ごと)		【参考】	大施策ごとの具体的事例
				期待以上 S (105%以上)	達成できた A (104～90%)	やや達成できた B (89%～70%)	達成できなかった C (70%未満)	未実施 D (コロナ等)	A評価以上の割合 (未実施を評価対象から除く)	A:80%以上達成 B: 50～79%達成 C:50%未満		
1 誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実	(1)変化の激しい社会で生き抜くための学習機会の提供	①現代的課題に関する学習機会の提供	21	1	18	1	0	1	90.3%	A	12.5%	No.11のユニバーサルデザイン出前講座を新規事業として実施した。小学生を対象とした事業であるものの、小学生へのユニバーサルデザインに対する意識を醸成できたことで、多世代にもユニバーサルデザインに関する意識が波及している。
		②青少年期に学びの基礎を身に付けるための学習機会の提供	8	2	5	1	0	0				
		③仕事や就職に関する学習機会の提供	3	1	1	1	0	0				
	(2)暮らしを豊かにする学習機会の提供	①学びとしてのスポーツに関わる学習機会の提供	14	1	11	1	1	0	92.6%	A	17.9%	No.39の障害者スポーツ教室では、障がいのある方が新しいことへのチャレンジをする機会と社会参加を促進することができた。また、障がいのない方との交流を通じて障がいや障がいのある方への理解を促進することができた。
		②文化・芸術・趣味に関する学習機会の提供	5	1	4	0	0	0				
		③健康に関する学習機会の提供	9	3	5	0	0	1				
	(3)市民の自発的な学習の促進	①生涯学習施設等の学ぶ場所の提供(貸館・展示等)	27	4	21	2	0	0	90.2%	A	17.1%	No.97の駿府匠宿運営事業では、創作体験施設の利用者数及びその満足度において目標を上回る成果を上げた。工芸品等の展示や創作体験をとおして、工芸に親しみを持って学ぶ機会を提供できた。
②展示等による鑑賞・学習機会の提供		14	3	9	2	0	0					
	小計	101	16	74	8	1	2	90.9%	A	15.8%		
2 学びを地域や社会に活かすための支援の充実	(1)地域や社会を担う人材の養成	①シチズンシップに富んだ人材の養成	33	4	22	6	0	1	85.7%	A	11.6%	No.137のヘルシー食deブランディング飲食関係者向け専門講座については、初年度ながら仕事や就職活動に活かせると回答した市民の割合が100%となり、食を通じて社会課題の解決をする人材の発掘と養成をすることができた。
		②地域経済を担う人材の養成	10	1	9	0	0	0				
	(2)対話や地域交流の促進	①対話を通じた学びや地域・社会活動の促進	2	0	2	0	0	0	75.0%	B	0%	参加者数等を目標値とした3事業すべてで目標値に達しなかった。特にNo.147の生涯学習センター・交流館まつりの開催は、生涯学習団体の学習成果を地域・社会に波及させる場でもあるので、より多くの方に参加いただけるような取り組みが必要である。
		②学びをきっかけにした地域交流の活性化	2	0	1	1	0	0				
	(3)市民の自発的な地域・社会活動の促進	①人材活用場の提供	2	0	2	0	0	0	90.9%	A	18.2%	No.149の民間教育力活用事業の実施については、地域人材を活用し、地域での活動の場づくりを行い、子どもたちの体験的な学習や問題解決的な学習を充実させた。
		②自発的な地域・社会活動の支援	3	0	2	1	0	0				
		③学びを活かして活動する場所の提供	6	2	4	0	0	0				
	小計	58	7	42	8	0	1	86.0%	A	12.1%		
3 「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実	(1)学びやすい生涯学習施設等の整備	①生涯学習施設等の整備・維持・管理	38	5	31	2	0	0	94.9%	A	12.8%	No.198の生涯学習施設の運用改善事業では、藁科生涯学習センターへの自由利用スペースの設置及び利用に係る制度の見直しとして、早期優先利用制度を施行したことで、利便性向上につながった。
		②生涯学習施設等の使いやすさの向上	1	0	1	0	0	0				
	(2)生涯学習施設等のデジタル環境の整備	①生涯学習施設等のデジタル環境の整備	1	1	0	0	0	0	100%	A	33.3%	No.200の生涯学習施設予約システムのDX化推進では、令和7年度4月の利用申請分からの新システム利用開始に向けて準備を進めた。新システムが稼働するとキャッシュレス決済ができるようになり、利用者の利便性が向上する。
		②生涯学習施設等の予約システムの管理・運用	2	0	2	0	0	0				
	(3)生涯学習に関する啓発や情報発信	①学ぶことの大切さの啓発	1	0	1	0	0	0	100%	A	0%	No.202のReまなびシンポジウムを新規事業として初めて開催した。大人の学び直しの重要性への理解促進と学習機会を提供することができた。
		②学習情報などの効果的な発信	1	0	1	0	0	0				
	(4)学習・活動相談体制の整備	①学習相談・活動相談の充実	1	0	0	1	0	0	0%	C	0%	No.204の生涯学習施設における学習相談他の実施については、相談件数が目標値に達しなかったが、生涯学習施設利用者が増加していることから、相談や支援等を経ず、自発的に生涯学習に取り組む市民が増えているとも考えられる。
	(5)生涯学習推進体制の充実	①行政・企業・高等教育機関・NPO等との連携	1	0	1	0	0	0	100%	A	0%	No.205の大学連携事業及び、No.206こ・こ・に推進事業を通じて、市内6大学及び市関係各課との良好な連携が取れ、充実した生涯学習推進体制が構築できた。
②市における推進体制の充実		3	0	3	0	0	0					
	小計	49	6	40	3	0	0	93.9%	A	12.2%		
		合計	208	29	156	19	1	3	90.2%	A	13.9%	

※評価方法 各事業の評価は、静岡市自治基本条例第24条に規定された事務事業評価をまとめた事務事業総点検に基づきS～Cの4段階で評価した。事務事業総点検に記載ない事業は別途評価した。未実施の事業はD評価とした。総合評価、施策の柱及び大施策ごとの評価は各事業の評価のうちA評価以上の割合に応じてA～Cの3段階で評価した。(A評価以上の割合が80%以上→A、50%以上→B、49%以下→C)

第3次静岡市生涯学習推進大綱 前期推進計画期間 令和5年度登載事業一覧

資料1-3

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業		事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度	
1 誰もが気軽に学び、互いに学び合える機会の充実																										
（１）変化の激しい社会で生き抜くための学習機会の提供																										
①現代の課題に関する学習機会の提供																										
1		1	(1)	①	生涯学習事業（現代的課題）	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業(清水区)	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	政治、経済、情報リテラシー、環境問題、防災、交通安全等を扱った講座の実施（b、c、f、h）	講座回数	各3回以上	センター11施設中、全ての施設で達成 交流館21施設中、全ての施設で達成	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	91.9%	91.4%	90.7%	93.4%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	90.4%	A	A	実施施設数、満足度ともに目標の9割を超え、市民に政治、経済、情報リテラシー、環境問題、防災、交通安全等に関する学習機会の提供ができています。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。
2		1	(1)	①	社会教育事業	生涯学習推進課	社会教育事業	市（直営・委託）	高齢者、子どもの保護者、女性を対象に、それぞれの現代的課題に対する学習ニーズに応える。	①高齢者学級の開催 ②家庭教育学級の開催 ③女性学級の開催	①高齢者学級の学級数 ②家庭教育学級の学級数 ③女性学級の学級数	①37学級 ②28学級 ③25学級	①36学級 ②28学級 ③25学級	25,789	24,877	①延べ参加者数 ②受講生満足度	①21,611人 ②92.4%	①21,611人 ②92.4%	①20,285人 ②92.0%	①11,767人 ②91.3%	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した ②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①22,262人 ②92.7%	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を達成し、それぞれの対象者の学習ニーズに応えることができた。	社会情勢の変化に伴い、対象者の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。
3		1	(1)	①	市民の情報リテラシー向上事業	D×推進課	情報リテラシー能力向上支援業務	市（委託）	市内の高齢者向けに情報リテラシーの向上支援を実施することにより、デジタルデバイドの解消を図る。	生涯学習施設等を会場として、高齢者が情報通信機器を活用する体験型講座やアフターフォローを実施	①契約事務 ②事業の体制づくり ③講座の実施	①実施 ②実施 ③30回	①実施 ②実施 ③32回	2,964	2,670	受講後アンケートにおける講座満足度	80.0%	77.2%	83.6%	－	講座を通じて情報通信機器の活用に興味を持つことを成果と位置付け、受講後アンケートにおける講座満足度の割合を目標値として設定した。	96.2%	S	A	過去のアンケートの分析により講座内容を変更したところ、満足度が目標値を大きく上回った一方、受講者数が前年度と比べ20％程度減少し、限定的な事業となったため、A評価とする。	デジタルが苦手な方への講座は、国や民間等の取組が多く開催されていることから、今後は、講座の開催から地域で教え合える共助の仕組みづくりに事業内容の方向性を変更する。
4		1	(1)	①	オクシズの森林整備事業費（オクシズの森林体感！事業）	中山間地振興課	オクシズの森林整備事業費（オクシズの森林体感！事業）	市（委託）	市民に森林及び林業の役割を啓発するとともに、市民の健全な余暇の利用に供する。	森林教室委託業務（森林教室、昆虫教室、林業体験教室、井川しいたけ教室、きのこ祭り、出張林業教室）	森林教室等委託件数	6件	6件	6,800	3,412	森林教室等参加者満足度	93%	93%	95%	93%	直近3か年平均を目標値として設定した。	99.1%	A	A	ほぼすべての参加者から「満足」との回答が得られたため、A評価とした。	参加者の満足度が高く、期待とおりの普及啓発の効果が得られていることから事業を継続していく。 また、参加者の募集について、Web申込を取り入れるなど方法を見直すことで、事務負担を軽減し効率的な事業実施を図る。
5		1	(1)	①	環境学習会の開催支援、実施	環境共生課	環境教育推進事業	市（直営・委託）	環境保全のために自ら行動する人を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域、学校、団体、行政などが相互に連携し、協働による環境学習の推進を図る。	①環境学習推進のための指導員の活用 ②自然観察会等への参加機会の創出	①環境学習指導員の派遣 ②各種環境学習会の開催	①220人 ②80回	①198人 ②73回	6,254	4,754	環境学習会等への参加者数	3,500人	2,830人	1,970人	1,741人	コロナウイルス感染症拡大前の参加者数を設定した。	3,229人	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、計画どおり事業を実施したため、参加者が増加した。	関係機関と協議し、事業内容の見直しや新規事業を実施するなど参加者の増加を図っていく。
6		1	(1)	①	シニアの活躍支援	地域活包羅推進本部 誰もが	高齢者就労促進事業	補助等（交付先）	人生100年時代と言われる中、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備し、「健康長寿のまち」の実現を目指す。	①マッチング支援 ②重点分野雇用創出	①支援企業数 ②窓口相談件数 ③出張相談会参加者数	①120社 ②900件 ③75人	①138社 ②1,516件 ③96人	15,500	15,500	①高齢求職者の雇用・就業数 ②シルバー人材センター新規会員登録数 ③窓口による事業利用満足度 ④公式LINE新規登録者数	①280人 ②60人 ③90% ④100人	①308人 ②105人 ③99% ④345人	①123人 ②60人 ③99% ④-	①183人 ②83人 ③99% ④-	①前年度までの実績及び新モデル事業によるボランティア等参加者数等を含めて設定 ②月2～3人の登録を目指して設定 ③前年度までの実績を勘案して設定 ④月8～10人の登録を目指して設定	①592人 ②111人 ③100% ④380人	①S ②S ③S ④S	S	令和4年8月から厚労省モデル事業「生涯現役地域づくり環境整備事業」を受託し、企業訪問、普及啓発の取組を進め、その結果、目標値を超える実績を上げることができたため。	引き続き、シニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を中心に、生涯現役地域づくり環境整備事業」を実施していく。
7		1	(1)	①	人権啓発事業	男女権共政策参謀課・人	人権啓発事業	市（直営・委託）	人権の大切さ、人権尊重の理念を地域社会に広く浸透させる。	①人権啓発講演会 ②人権教育事業 ③スポーツ組織との連携事業	①講演会の運営 ②市内こども園等へ訪問 ③各種イベントの運営	①実施 ②4園 ③3回	①実施 ②6園 ③3回	4,610	3,089	人権サッカー教室、人権フェスティバル、人権啓発講演会における人権について理解が深まった人の割合	96%	97%	96%	96%	過去3年の平均値を勘案し、平均値以上を目標として設定した。	97%	A	A	啓発活動を実施することで市民の人権に対する理解を深めることができた。	引き続き様々な啓発活動を通じ、ふだん「人権」になじみのない層に向けてアプローチしていく。
8		1	(1)	①	生物多様性に係る学習会の実施	環境共生課	生物多様性地域戦略事業	市（直営・委託）	2050年の静岡市の姿を「生きものとの共生による、健康で豊かな暮らしを次世代に受け継いでいく社会」とし、2030年までに「社会・自然の変化に対応した生物多様性への理解・協働推進による保全・再生の拡大」を図る。	①生物多様性地域戦略推進体制の構築 ②外来種の適正管理事業	①リーディングプロジェクトの進捗管理実施 ②出前講座の実施	①21事業 ②4回	①21事業 ②8回	2,438	2,102	生物多様性の概念及び保全活動の注目度（環境情報発信サイト「しぜんたんけんてちょう」閲覧数）	57,500件	55,523件	53,257件	39,738件	市民の外来生物に対する興味・関心が高まっていることや令和3年度に行ったトップページ改修を踏まえ、前年度実績値3％増の57,500件を目標値として設定した。	81,466件	S	A	環境に関するイベント情報を積極的に発信し、コンテンツの充実が図られ目標を達成することができた。	閲覧数は増加しているものの、令和4年度のシステム改修により追加された機能「活動レポート」（外部からの投稿フォーム）件数が少ないため、イベント情報発信と合わせ、活動状況を投稿してもらうよう周知を行っていく。
9		1	(1)	①	点字講習会	障害福祉企画課	点字講習会事業	市（委託）	視覚障がい者を支える点訳ボランティアを養成する。	初心者向けの点字講習会を実施	点字講習会の開催	実施	実施	198	196	受講者数	31人	35人	9人	28人	新型コロナによる受講者減少の影響を受けたR3年度以外のR1（28人）、R2、R4の3年の受講者数の平均値を目標値として設定した。	25人	B	B	点字講習会開催事務を適正に実施。講習会の開催等を実施したものの参加人数が目標値を上回ることができなかったため。	今後、参加者の人数が安定していくよう、適切な開催事務や周知等に努める。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）										評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度				
																	R4	R3	R2							
10	1	(1)	①	防災教育事業	危機管理課	市民意識の向上	市（直営）	災害時における市民の的確な判断力や防災知識・技術の向上を図るため、防災意識の高揚及び啓発事業を実施	市政出前講座等による防災研修の実施、「わたしの避難計画」等による啓発	出前講座等開催数	150回	166回	1,084	350	出前講座等参加者数	8,478人	7,504人	9,833人	8,095人	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した	8,227人	A	A	おおむね目標どおり出前講座等を実施することができたため。	引き続き、出前講座等を実施することで防災意識の向上が図られるよう取り組んでいく。また、より多くの方が受講できるように、内容や方法を工夫していく。	
11	1	(1)	①	ユニバーサルデザイン出前講座	景観まちづくり課	事務事業総点検上の業務の一部	市（直営）	小中学校（教職員を含む）を対象に、ユニバーサルデザインを楽しみながら学ぶ機会をつくり、その体験を通して、ユニバーサルデザインへの興味を高め、様々な人を思いやる気持ちを育てるため。	小中学校（教職員を含む）を対象とした出前講座の開催	講座受講者数	講座受講者：1,800人 算定根拠：R2～R5年度の受講者数平均値	1,763人	105	1	教員からみた、UDに対する生徒の理解度	4	—	—	—	出前講座実施後に行う教員向けアンケート項目の4“出前講座を受講した児童のUD理解度”における評価を、A→5、B→4、C→3、D→2、E→1とし、全教員の評価平均を目標値とする。	4.75	A	A	教員にアンケートを行ったところ、教員からみた、UDに対する生徒の理解度が、目標値の4を上回る4.75という実績値となったため。	令和6年度の機構改正に伴う業務内容の精査に伴い、UDに関する事業は業務規模を縮小した後、他部署へ移管する予定のため、UDのノウハウを残しつつ、スムーズな引継ぎができるような配慮が必要だと考えられる。	
12	1	(1)	①	井川の自然や文化とふれあう体験活動の実施	教育総務課	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家指導等事業	市（直営）	南アルプスユネスコエコパークの教育拠点として、青少年や市民に対し、自然とふれあう機会を提供する。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業の実施	①主催事業実施回数 ②主催事業応募率（全応募数／全定員数）	①23回 ②100%	①23回 ②99%	3,934	3,376	①参加者の満足度	①99%	①99%	①99%	①100%	①直近3か年の満足度の最低値である99%を最低予想値として算出し、目標値として設定した。	100%	A	A	主催事業をねらい通りに実施し、参加者の満足度が100%であったため。	応募率の高い主催事業の募集定員の拡充や複数回実施などを検討していく。	
13	1	(1)	①	国際理解に関する講座	国際交流課	多文化共生人材育成事業	市（直営）	本市の国際化・多文化共生を推進するため、国際交流員等を派遣し国際感覚豊かな市民や次世代を担う人材の育成を図る。	英語・中国語・フランス語国際交流員（CIR）を派遣し、こども園等を対象とした国際理解講座や市政出前講座の開催	国際理解講座、市政出前講座の派遣回数	90回	114回	7	0	国際理解講座の受講者満足度	100%	100%	100%	100%	受講者アンケートの直近3か年の実績値を維持することを目標として設定した。	100%	A	A	受講生（主に子ども）が興味を持つ内容を講座に取り入れることで、高い満足度につなげることができた。	引き続き受講生が興味を持つ内容を取り入れた講座を続けていく。	
14	1	(1)	①	在宅医療出前講座	地域包括包括推進本部 誰も	在宅医療・介護連携推進事業	市（直営）	在宅医療・介護の連携を推進する。	市民啓発のための講演会、出前講座の開催	在宅医療出前講座の実施	実施	実施	6,303	1,702	在宅医療出前講座で在宅医療サービスについて理解できた受講者の割合	95%	100%	90.5%	92.9%	在宅医療出前講座を受講した市民がアンケートで「専門職が提供できるサービスやケアの内容について理解できましたか」の問いに「理解できた」「ある程度理解できた」と回答することを、過去3年間の平均値を踏まえ目標値として設定した。	94.1%	A	A	講師へ事前に説明会を実施したことにより、受講者の理解度向上に繋がり、目標を概ね達成することができた。	引き続き、研修や講座等を実施し、受講者の在宅医療や在宅介護における理解の促進を目指す。	
15	1	(1)	①	治水交流資料館講座の開催	河川課	治水交流資料館講座の開催	市	治水・防災意識の向上を図る。	河川の歴史や地形などをテーマにした講座の開催	講座の開催回数	4回実施	4回実施	60	42	講座参加者の満足度	90.0%	73.9%	92.8%	100%	直近3年間の平均値をもとに算出した。	84.9%	A	A	計画とおりの実施ができ、進捗評価がAを達成できたため。	来館者の増加につながるよう、新しい内容を取り入れ実施する。	
16	1	(1)	①	消費者教育の実施	生活安全安心課	消費者保護啓発事業	市（直営・委託）	消費者が安全で安心して暮らせるとともに、正しい知識に基づく的確な判断により消費行動をとることができる社会の実現を図る。	①消費生活相談の受付 ②消費者被害防止などの啓発講座 ③消費生活関連の情報収集・提供	①消費生活相談の実施 ②学校や地域における主催講座や出前講座の開催 ③SNSによる市民への注意喚起情報の提供	①100% ②36回 ③24回	①100% ②67回 ③25回	9,045	6,097	①消費生活相談窓口としての消費生活センターの認知度 ②契約に関する正しい知識の定着度 ③エシカル消費に関心を持ち、行動を実践している市民の割合	①50.1% ②32.7% ③48.0%	①47.1% ②31.9% ③46.3%	— —	消費生活条例に基づく第3次静岡市消費生活基本計画が令和5年度よりスタートし、当該計画に係る活動指標及び成果指標に掲げた令和12年度目標値を達成するため、事前に実施した令和4年度市民アンケート結果の数値を基準値とし、令和5年度目標値を設定した。 （例①：R12目標値70%、R8中間目標値59%、59%－基準値47.1%／4年間＝2.975 47.1%＋2.975%＝50.1%）	①51.4% ②32.6% ③63.8%	A	A	講座や情報発信を目標以上に果たしたこと、センターの認知度や契約に関する知識の定着率については、さらに高める必要がある。また、エシカル消費については現在の数値を維持する必要があることから、引き続きSNSや講座などを通じて市民に消費者教育を行っていく。 消費生活相談については、適切に対応は出来ているが、相談内容は日々、複雑・多様化が進んでいるため、消費生活相談員のさらなるスキルアップによる対応力の向上を図っていく。	消費者トラブルの発生状況を踏まえると、センターの認知度や契約に関する知識の定着率については、さらに高める必要がある。また、エシカル消費については現在の数値を維持する必要があることから、引き続きSNSや講座などを通じて市民に消費者教育を行っていく。 消費生活相談については、適切に対応は出来ているが、相談内容は日々、複雑・多様化が進んでいるため、消費生活相談員のさらなるスキルアップによる対応力の向上を図っていく。		
17	1	(1)	①	障がいの理解・啓発促進事業	障害福祉企画課	心のバリアフリーイベント	市・補助等（直営・交付先）	障がいや障がいのある人についての理解を深め、障がいのある人の社会参加の促進を図る。	①障がいに対する理解を深めるイベントの実施 ②障害者週間（12/3～9）における啓発活動の実施	①実行委員会開催 ②イベント開催	①2回 ②1回	①3回 ②中止	1,900	944	①イベント実施回数 ②イベント来場者へのアンケート回答で、共生社会への理解が深まった人の割合	①1回 ②80パーセント	悪天候により中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	①、②「障がい者共生のまちづくり計画」を踏まえ、共生社会についての理解を深めるイベントとすることを目標とした。	悪天候によりイベント中止	-	D	当日の悪天によりイベントを実施できなかったため。なお、障害者週間における啓発活動は実施した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止や悪天により令和元年から開催が見送られているが、イベントから人が離れて社会参加の場を失うことがないように、継続して取り組んでいく必要がある。	
18	1	(1)	①	食の安全・安心リスクコミュニケーション、食の安全教室の実施	食品衛生課	食の安全対策推進事業	市（直営）	「食の安全確保」および「食の安心の提供」を図る。	食の安全・安心アクションプランに基づいた業務を実施	リスク・コミュニケーションの申請に対する実施率（マトニティー・市政出前講座等）	100%	100%	1,202	891	アンケートにおける理解度	90%以上	100%	98.4%	100%	講習会参加者にアンケートを実施し、理解度90%以上を目標値としてと設定した。（理解度については、実際の参加メンバーによる差が大きいため、理解度が90%以上とした。）	100%	A	A	講座の内容は、行政の立場から市民に特に伝えたいものであり、それに対して十分な理解を得られたことができた。	講習会の内容の充実を検討する。マトニティー教室の立場から市民に特に伝えたいものであり、それに対して十分な理解を得られたこと、相互にコミュニケーションを取れるように実施していく。	
19	1	(1)	①	動物愛護の促進	動物指導センター	動物愛護館運営経費（経常）	市（委託）	指定管理者制度の導入により、適正かつ合理的な運営を行い、動物の理想の飼育管理、動物愛護精神の普及を図る。	①指定管理関係事務（協定締結、年度評価等） ②活動状況の把握 ③愛護館の修繕及び備品購入	①広報掲載による周知 ②毎朝のミーティングの実施 ③利用者やHPへの周知	①広報掲載回数8回 ②100% ③実施	①広報掲載回数8回 ②100% ③実施	10,113	9,933	①来館者数 ②イベント・講座開催回数 ③子猫の譲渡数	①10,990人 ②14回 ③58頭	①10,993人 ②14回 ③57頭	①8,946人 ②13回 ③55頭	①8,471人 ②13回 ③61頭	①コロナ禍から回復した令和4年度の人数を目標値に設定した。 ②指定管理仕様書記載事項を設定した。 ③過去3年間の平均で58頭に設定した。	①14,856人 ②13回 ③42頭	①S ②A ③B	A	イベント・講座開催回数はほぼ目標どおりで子猫の譲渡数は目標を下回った。しかし、来館者数は中学生の体験学習の参加者の増加等もあり目標を大幅に上回り、動物愛護精神の向上を図ることができた。	今後も来館者数を増やすためには、利用者ニーズを的確に把握することが重要であるため、アンケート調査を積極的に実施し、その結果をもとに魅力的なイベント・講座を企画、実施していく。	

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																		R4	R3	R2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）										評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度				
③仕事や就職に関する学習機会の提供																										
30	1	(1)	③	生涯学習施設の「Reまなび講座」	生涯学習推進課	Reまなびプロジェクト推進事業	市（直営・委託）	社会人として新しい基礎力を身につけることができる講座を実施し、「大人の学び直し」を推進する。	生涯学習施設における「Reまなび講座」の実施	①生涯学習センターでの講座実施回数 ②生涯学習交流館での講座実施回数	①22回 ②42回	①45回 ②16回	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合	80.0%	—	—	—	講座実施初年度となるため、80%に設定した。	94.8%	S	S	初年度の取組として、おおむね目標以上の結果となり、仕事や就業に関する学習機会の提供ができている。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	
31	1	(1)	③	大学連携事業の実施	生涯学習推進課	大学連携事業	市（直営・委託）	大学との連携による学習機会の提供により、市民の専門化、高度化した学習要求に応える	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①6回 ②20回 ③2回	①6回 ②24回 ③2回	310	296	①市民大学リレー講座受講生満足度 ②生涯学習施設・大学共催公開講座受講生満足度	①82.3% ②91.3%	①82.3% ②91.3%	①81.3% ②84.1%	①82.0% ②90.2%	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①80.5% ②89.2%	①A ②A	A	成果指標の目標に見合った十分な成果が出ており、市民に高度で専門的な学習機会や情報を提供することができた。	社会情勢の変化に合わせた市民への高度で専門的な学びの機会が求められているため、高等教育機関である大学との連携を強化し、市民への高度で専門的な学習機会や情報の提供に取り組んでいる。	
32	1	(1)	③	生涯学習事業（仕事や就職）	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業（清水区）	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	職業能力の向上、キャリア観の形成、就労支援等を扱った講座の実施（d）	講座回数	各1回以上	センター11施設中、全ての施設で達成 交流館21施設中、7施設で達成	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	95.8%	94.2%	96.7%	96.6%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	94.8%	A	B	センターの実施施設数、満足度ともに目標の9割を超え、市民に職業能力の向上、キャリア観の形成、就労支援等に關する学習機会の提供ができた一方で、交流館の実施施設数が4割に満たなく課題が残る結果となった。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。	
（2）暮らしを豊かにする学習機会の提供																										
①学びとしてのスポーツに関わる学習機会の提供																										
33	1	(2)	①	生涯学習事業（スポーツ）	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業（清水区）	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	体育、レクリエーション等を扱った講座の実施（o）	講座回数	各1回以上	センター11施設中、1施設で達成 交流館21施設中、4施設で達成	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	97.0%	97.0%	95.9%	96.6%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	95.4%	A	C	実施施設数がセンター1施設、交流館4施設と低迷し、課題が残る結果となった。	体育・レクリエーション等に関する講座は、健康・医療や子育て・教育の分野として実施している現状もあるため、活動指標の設定の仕方を検討していく必要がある。	
34	1	(2)	①	スポーツ指導者スキルアップ講習会	スポーツ振興課	指導者向け講習会	市（直営・委託）	各分野の専門講座を開き、指導者が正しい知識と指導法を習得するための学習の場を提供することで、指導者の育成と資質向上を図る。	大学教授や医師、インストラクター等を招いて基本的な指導法の習得を図るための講習会を開催する。	開催回数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①6回 ②1回	①6回 ②2回	①— ②67	①— ②63	参加者数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①200人 ②150人	①200人 ②150人	①97人 ②96人	①延べ177人 ②中止	②コロナ感染症の影響が緩和されてきたR4の実績を参考に設定した。	①156人 ②140人	①B ②B	A	①インフルエンザの流行等により、参加者数実績が目標を下回ったが、大学教員、柔道整復師等を招き、スポーツ心理学、テーピング等の講習会を計画どおり開催できたため。 ②参加者数実績が目標を下回ったが、講習会を計画どおり開催できたため。	①参加者からの満足度は高いため、より参加者が増えるよう周知方法を工夫する。 ②引き続き、学校プール開放が安全に行われるよう監視員講習会を開催する。	
35	1	(2)	①	チャレンジなわとびの開催	スポーツ振興課	チャレンジなわとびの開催	市（直営）	誰でも手軽にできるスポーツ「なわとび」を通して、市民の健康の増進、体力向上を図るとともに、参加者及び親子の交流を深める。	個人の部、組なわとびの部、チャンピオンの部、持スカの部の4部門があり、自分の体力や能力、年齢に応じてテストに挑戦する。チャレンジなわとびを開催する。	学校等体育施設の開放を行い、多くの市民が身近な環境でスポーツができる場を提供した。	①1回 ②5回	①1回 ②5回	60	76	参加者数 ①なわとび判定員講習会（清水区スポーツ推進委員以外の美参加者数） ②チャレンジなわとび（延参加者数）	①10人 ②690人	①8人 ②738人	①中止 ②37人	①1人 ②120人	①H30～R4（R3除く）の実績を参考に設定した。 ②H30（610人）、R1（724人）、R4の実績を参考に設定した。	①12人 ②788人	①S ②S	A	計画通り実施できた。周知については、小学校へのチラシ配布、市LINE等の広報を行い、参加者数の確保に努めた。	より多くの市民、また幅広い年齢層に参加してもらえるよう、子どもの対応等を検討し、周知方法や運営方法の見直しや改善を行っていく。	
36	1	(2)	①	ニューススポーツ体験会	スポーツ振興課	スポーツ推進委員関連事業	市（直営）	スポーツ推進委員による地域でのスポーツ活動を推進することにより、市民がスポーツに触れる機会を創出し、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」を推進する。	・委員報酬の支払い ・連絡協議会への補助金交付 ・ニュースポーツイベントの開催 ・推進委員向け研修会の受講促進	開催回数 ①チャレンジスポーツラリー ②チャレンジスポーツDAY	①1回 ②各区1回以上	①1回 ②各区1回以上	18080の一部	14071の一部	延べ参加者数 ①チャレンジスポーツラリー ②チャレンジスポーツDAY	①470人 ②220人	①468人 ②213人	①中止 ②125人	①115人 ②中止	コロナ感染症の影響が緩和されてきたR4の実績を参考に設定した。	①232人 ②475人	A	A	例年、静岡市中央体育館と清水総合運動場を隔年で開催している①はR5年度清水での開催となった。当日は清水区「津波避難訓練」と日程が重なった為、参加者数が減少した。	R6年度から中央体育館のみの開催とした。また、新たな種目の導入を検討し、市民が関心を持ち、参加しやすいイベントを開催できるよう、協同する委員と検討をしていく。	
37	1	(2)	①	市民ラジオ体操祭の開催	スポーツ振興課	静岡市民大会等開催業務	市（委託）	各種市民大会等を開催することにより、市民のスポーツ実施の機会創出と健康づくりを促し、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の推進と競技力の向上を図る。	各競技団体を主管として各種目別大会やラジオ体操祭を開催する。（H15から事業実施、H29から委託）	①適切な委託事務の実施 ②実施大会の効果的な広報の実施 ③市民スポーツ大会の開催回数	①実施 ②実施 ③30回以上（各競技1回以上）	①実施 ②実施 ③27回	9,334	9,334	市民スポーツ大会への延べ参加者数	40,000人以上	21,583人	23,949人	25,064人	新型コロナウイルス影響前の令和元年度実績数値（39,531人）程度を目標値とした。	33,764人	B	B	インフルエンザ等の感染症、荒天、濁水等の外的要因により開催が中止となった大会があり、回数、参加者数が目標を下回ったため。	より多くの市民に参加していただけるよう、周知の仕方や内容を検討していく。	
38	1	(2)	①	初心者スポーツ教室の開催	スポーツ振興課	各種スポーツ教室	市（直営）	競技人口の拡大と各種目の競技力向上及び、「静岡型スポーツ・イン・ライフ」の推進を図る。	普段運動をしない人にスポーツに親しんでもらうよう、初心者を対象にしたスポーツ教室を開催する。	開催回数	6回	6回	170	128	延べ参加者数	487人	487人	139人	89人	昨年度実績を参考に設定した。	441人	A	A	各学校担当者及び講師と連絡を密に取り、滞りなく実施できた。	教室によって参加人数に偏りがでてしまったため、教室の内容、開催場所や実施回数等を検討していく。	

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所 属 名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 （千円）	決算額 （千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度
																	R4	R3	R2						
39	1	(2)	①	障害者スポーツ教室	障害福祉企画課	スポーツ教室開催事業	市（委託）	障がいのある人の健康維持向上、社会参加の促進及び障がいや障がいのある人に対する理解啓発を図る。	スポーツ教室の開催	①教室開催 ②障がいのない人への開催通知・参加依頼	①開催 ②実施	①開催 ②実施	556	556	参加者数	240人	374人	221人	225人	「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策定時に、過去の実績から、令和3年度から令和5年度の目標値を「230人」「235人」「240人」と設定した。 ※静岡市障がい者共生のまちづくり計画：3年毎見直し	467人	S	S	参加希望が多かった昨年度の状況を鑑みて、開催数を増やして対応した。	これまでの実施内容を分析し、より効果的な開催時期を検討していく。遠隔地への積極的な出張等の企画に取り組んでいく。
40	1	(2)	①	清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	清水庵原球場管理事業	市（委託）	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	88,806	88,546	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①100% ②85.6%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①100% ②99.3%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。利用者層の変化に伴い、ニーズも変化していることから、適切な維持管理の実施に努めていく。
41	1	(2)	①	清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	市（委託）	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	212,975	202,791	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.3% ②98.6%	①98% ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①94.8% ②98.7%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外の修繕については、必要性を判断し、対応していく。
42	1	(2)	①	スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	スポーツ施設維持管理事業	市（直営・委託）	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施	①3件 ②実施	244,521	235,090	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①95.9% ②96.0%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①97.4% ②94.5%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外に修繕が必要となった場合は、必要性を判断し、対応していく。
43	1	(2)	①	総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	総合運動場管理運営事業	市（委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件（体育館含む） ②実施	①2件（体育館含む） ②実施	386,462	383,425	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①98.6% ②93.1%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①99.0% ②91.5%	①S ②A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、陸上競技場3種公認に係る協議を踏まえた上での維持管理を実施していく。
44	1	(2)	①	体育館管理運営事業	スポーツ振興課	体育館管理運営事業	市（直営・委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件（総合運動場含む） ②実施	①2件（総合運動場含む） ②実施	659,360	635,124	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.6% ②100%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①97.6% ②98.6% ③完了	①S ②A ③A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け、対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。
45	1	(2)	①	日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	日本平運動公園管理事業	市（委託）	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	229,631	225,532	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①96.1% ②99.2%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①96.7% ②99.6%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、新スタジアムの動向を踏まえた上での維持管理を実施していく。
46	1	(2)	①	ふれあい健康増進館ゆ・ら管理運営事業	スポーツ振興課	ふれあい健康増進館ゆ・ら管理運営事業	市（委託）	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①2件 ②実施	①2件 ②実施	229,631	225,532	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.8% ②99.6%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約基金等考慮）	①98.1% ②99.9%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、コロナ禍が収束し、今後は利用者の増加が見込まれることから、受付窓口の混雑緩和のため、オペレーションの見直し等を検討していく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度	
②文化・芸術・趣味に関する学習機会の提供																										
47		1	(2)	②	生涯学習事業（文化・芸術・趣味）	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業(清水区)	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	教養の向上、趣味等を扱った講座の実施（n）	講座回数	各1回以上	センター11施設中、全ての施設で達成 交流館21施設中、全ての施設で達成	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	95.8%	95.6%	95.2%	96.8%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	94.5%	A	A	実施施設数、満足度ともに目標の9割を超え、市民に教養の向上、趣味等に関する学習機会の提供ができています。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。
48		1	(2)	②	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業	まちは劇場推進課	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業	市（委託）	オーケストラ等と連携し、オープンスペースでのコンサートを行い、日常に音楽のある環境を創出することで「まちは劇場」を推進する。	「まちかどコンサート」、「Hotひといきコンサート」を開催	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①2件 ②13件 ③実施	①2件 ②13件 ③実施	9,129	8,737	①まちかどコンサート来場者数 ②Hotひといきコンサート来場者数	①4,000人 ②1,080人	①3,941人 ②494人	①4,062人 ②777人	①3,800人 ②1,097人	①1回当たりの来場者数100人×37回＝3,700人を予想値として算出、4,000人を目標値として設定した。 ②各会場募集定員を目標値とした（由比蒲原320人×2回・厩馬80人×1回＋清水200人×1回＋会場未定100人×2回）。	①4,089人 ②866人	①A ②B	A	SNS等による情報発信の強化により、概ね目標どりの来場者数となった。多くの市民に対して生の音楽に触れる機会を提供できたため評価をAとした。	来場者の年齢層が高く、固定客の割合が高いため、幅広い世代の顧客の獲得が課題である。音楽により「まち」の魅力を高め、新たな顧客層を開拓するため、多種多様な会場でコンサートを開催する。またSNSなどを活用し、若年層をターゲットにした情報発信を行う。
49		1	(2)	②	「まちは劇場」推進事業 市民参加型舞台公演事業	まちは劇場推進課	「まちは劇場」推進事業 市民参加型舞台公演事業	市（委託）	あらゆる人々が文化芸術活動に参加できる環境の整備に取組み、本市のプレゼンスの向上及び「市民が主役」のまちは劇場を推進する。	年齢や性別、障害の有無を問わず参加できる市民参加型の演劇ワークショップ及び発表公演の開催	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検収	①1件 ②1件	①1件 ②1件	5,400	5,390	①演劇ワークショップの実施 ②市民参加型バリアフリー公演の開催回数	①20回 ②1回	①52回 ②3回	①54回 ②2回	①25回 ②1回	①ワークショップの成果発表公演に向けて、必要な実施回数を設定した。 ②ワークショップ参加者が1回は舞台上に立てるように回数設定した。	①72回 ②1回	①S ②A	S	目標値を大きく上回るワークショップの実施回数となり、健常者と障がい者が同じ舞台上に立ち、あらゆる人々が芸術活動に参加できる環境を整備することができた。また観覧者及び参加者から高い評価を得ることができた（観覧者満足度96.4%、参加者満足度100%）ため、評価をSとした。	当該事業は「誰もが表現できるまち」を目指す「まちは劇場」の推進にとって重要な事業であり、担い手となる市民の育成に成果をあげているが、活動拠点である静岡市民文化会館が改修に伴う休館に入るため、令和7年度以降の事業内容を見直す。
50		1	(2)	②	まちは劇場コンサート事業	文化振興課	まちは劇場コンサート事業	市（委託）	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサートをを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサートの実施	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②1件 ③1件	①2件 ②13件 ③13件	21,033	20,959	①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施園数 ③親子コンサート応募人数	①8校 ②14園 ③3,700人	①8校 ②18園 ③5,969人	①8校 ②18園 ③6,964人	①6校 ②24園 ③6,734人	①予算積算上の実施分を完全実施するため、8校を目標値として設定した。 ②上に同じく、14園を目標値として設定した。 ③実施するホールの定員数（静文：1,968人、マリナート：1,513人、AOI：618人×2回）4,717人の80%である3,773人を予想値として算出し、3,700人を目標値とした。	①8校 ②19園 ③8,520人	①A ②S ③S	A	訪問コンサートでは多くの学校・こども園に応募いただき実施することが出来た。本格的なオーケストラの曲目から子供たちに馴染みのある曲まで迫力ある演奏を子供たちに届けることができた。	親子コンサートの応募人数は、目標値は大きく上回っているものの、年々応募人数は減少していることから、広報活動に努めるなどし、集客を図っていく。訪問コンサートについては、毎年多くの学校、こども園から応募があるため、未実施校・園を優先に早期の実施を図っていく。
51		1	(2)	②	文化芸術アウトリーチ事業	文化振興課	文化振興事業の実施経費	市（委託）	文化振興施策の一環として、様々な文化事業を効果的に実施し、本市の文化振興を図る。	「文化芸術アウトリーチプログラム事業」「静岡市民芸術発表会」「オーケストラ鑑賞事業」「伝統文化ワークショップ」等の開催、「静岡市民文芸」の発行（文化活動委託）、静岡市芸術文化奨励賞の交付等	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②12件 ③12件	①1件 ②12件 ③12件	26,265	26,239	①「文化芸術アウトリーチプログラム事業」訪問回数 ②「静岡市民文芸」一般応募者数 ③「静岡市民芸術発表会」参加団体数 ④「伝統文化ワークショップ」参加者数 ⑤「オーケストラ鑑賞事業」参加者アンケート満足度 ⑥「竹久夢二作品等展覧会」実施 ⑦「平野富山作品等の保管及び展示等業務」展示替回数	①9回 ②261人 ③40団体 ④120人 ⑤95.0% ⑥実施 ⑦3回	①11件 ②279人 ③81団体 ④116人 ⑤93.8% ⑥実施 ⑦3回	①9件 ②250人 ③67団体 ④120人 ⑤96.2% ⑥3,661人 ⑦3回	①ー ②261人 ③57団体 ④148人 ⑤98.3% ⑥2,815人 ⑦3回	①予算の範囲内で実施が可能と判断される訪問数 ②過去3年間の平均値で設定 ③新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として募集定員を設けた数値を目標値として設定 ④新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として募集定員を設けた数値を目標値として設定（各回30人×4グループ） ⑤過去3年間の参加者アンケート満足度の平均値で目標値を設定 ⑥今後の実施会場が未確定のため、実施の有無を目標値とする。 ⑦美術作品の保護の観点から予想値を算出し、目標値に設定	①11回 ②378人 ③85団体 ④98人 ⑤97.2% ⑥実施 ⑦3回	①S ②S ③S ④B ⑤A ⑥A ⑦A	A	文化芸術アウトリーチプログラム事業では、市立こども園を初めとする市内11か所の施設において、和楽器を中心としたコンサートを実施し、施設及び参加者から高い満足度を得ることができた。市民芸術発表会では、出演団体数が目標値を大きく上回り、文化芸術に携わる市民の「発表の場」を提供する事が出来た。	事業内容や実施先について、随時実施団体と協議しながら見直しやリニューアルを行っていく。
③健康に関する学習機会の提供																										
52		1	(2)	③	生涯学習事業（健康）	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業(清水区)	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	健康づくり、医療、食育、食の安全等を扱った講座の実施（g,i）	講座回数	各2回以上	センター11施設中、全ての施設で達成 交流館21施設中、全ての施設で達成	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	95.0%	94.5%	95.2%	95.4%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	94.1%	A	A	実施施設数、満足度ともに目標の9割を超え、市民に健康づくり、医療、食育、食の安全等に関する学習機会の提供ができています。	社会情勢の変化に伴い、市民の学習ニーズも変化するため、ニーズに合わせた講座実施に取り組んでいく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
																	R4	R3	R2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）					活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度			
（３）市民の自発的な学習の促進																									
①生涯学習施設等の学び場所の提供（貸館・展示等）																									
61	1	(3)	①	生涯学習センターにおける貸館実施	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了	①11箇所 ②13件 ③完了	484,429	468,132	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①40.0% ②410,303人	①40.0% ②410,303人	①36.5% ②352,328人	①34.8% ②254,502人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①43.7% ②423,461人	①A ②A	A	職員が利用者に丁寧に に対応し、施設管理を適切に行うこと で、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせてた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。
62	1	(3)	①	清水区生涯学習交流館における貸館実施	生涯学習推進課	生涯学習交流館運営事業（清水区）	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①20箇所 ②13件 ③完了	①20箇所 ②13件 ③完了	567,380	552,781	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①27.4% ②497,2243人	①27.4% ②497,2243人	①24.2% ②442,387人	①21.8% ②322,363人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①29.1% ②539,458人	①A ②A	A	職員が利用者に丁寧に に対応し、施設管理を適切に行うこと で、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせてた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。
63	1	(3)	①	葵区生涯学習施設における貸館実施	生涯学習推進課	生涯学習交流館運営事業（葵区）	市（直営・委託）	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営（直営館の維持管理業務）	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②8業務	①120回 ②8業務	14,585	11,528	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①4.0% ②9,122人	①4.0% ②9,122人	①3.6% ②10,925人	①3.1% ②6,228人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①4.8% ②8,803人	①S ②A	S	職員が利用者に丁寧に に対応し、施設管理を適切に行うこと で、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせてた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、各施設との連携を密にして取り組んでいく。
64	1	(3)	①	生涯学習団体の認定制度	生涯学習推進課	事務事業総点検上の業務の一部	市（直営）	生涯学習施設における生涯学習団体を認定することで、生涯学習施設を利用する市民の自発的な学習の促進を図る。	①条例8条3号団体の認定（随時） ②条例9条2項団体の認定（年度末）	生涯学習施設における団体認定制度の案内実施	38施設	38施設	0	0	①条例8条3号団体数 ②条例9条2項団体数	①1,828 ②1,002	①1,958 ②994	①1,662 ②989	①1,863 ②1,023	直近3か年の平均値を目標値として設定	①1,877 ②991	①A ②A	A	生涯学習団体発足の ための講座を実施し、団体の活動継続の支援をすること で、目標を概ね達成することができた。	生涯学習団体の発足・認定をしていくために、各施設で共催事業の実施等、生涯学習団体の支援を引き続き行う。
65	1	(3)	①	学校等体育施設利用事業	スポーツ振興課	学校等体育施設利用事業	市・補助等（直営・交付先）	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の保守点検	①実施 ②1回	①実施 ②1回	68,965	66,266	延べ利用者数	170万人	1,849,563人	1,687,568人	1,569,032人	過去3年間（R2～R4）の平均値を目標値として設定した。	1,932,798人	S	A	利用者数の目標値を上回り、多くの市民が利用できたため。	中心部の学校の利用は飽和状態にあるため、近隣や山間部の協議会との連携を促し、多くの市民が利用できるように対応する。
66	1	(3)	①	こどもクリエイティブタウン管理運営事業	商業労政課	こどもクリエイティブタウン管理運営事業	市（直営・委託）	こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ。	①講座形式のものづくり体験等 ②模擬店舗形式での仕事体験等 ③商店街、企業との連携による仕事体験等	①指定管理料支払事務 ②定例会（12回）を通じた管理運営に係る指導・助言	①事務処理の円滑な実施 ②定例会への参加	①円滑な実施 ②定例会へ参加	114,949	117,342	①利用者数 ②利用者満足度	①100,000人 ②98.1%	①13,012人 ②99.7%	①6,605人 ②98.2%	①106,370人 ②96.6%	①指定管理業務仕様書で定める指標を目標値に設定した。昨年よりは大幅に増加したが、目標達成に至らなかった。しかし、利用者満足度調査では例年同様高水準を維持しているため。	①75,746人 ②99.3%	①B ②A	A	年間利用者数に関してはコロナ感染症5類への移行に伴い、昨年よりは大幅に増加したが、目標達成に至らなかった。しかし、利用者満足度調査では例年同様高水準を維持しているため。	平日の利用者数を増加させるためにも、学校・団体利用の促進にも努めていく。
67	1	(3)	①	賤機都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	賤機都市山村交流センター管理経費	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	①1件 ②13回	24,987	23,670	利用者満足度	95.0%	100.0%	98.8%	94.8%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	97.2%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	利用者が安心して快適に過ごせるよう引き続き各施設の維持管理を徹底し、利用者の満足度を維持していく。
68	1	(3)	①	自然の家における施設運営の実施	教育総務課	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家管理事業	市（直営）	計画的に施設の修繕や点検を行い、安全で利用しやすい管理運営をする。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の維持管理・施設運営	施設修繕等の実施回数	4回	13回	42,558	38,008	管理瑕疵による事故件数0件	0件	0件	0件	0件	直近3か年の平均値である0件を予想値として算出し目標値として設定した。	0件	A	A	施設を適正に維持管理し、管理瑕疵による事故がなかったため。	施設の経年劣化に対応するため、不具合を未然に防止する計画的な修繕を行い、コスト削減につなげる。
69	1	(3)	①	蒲原東部・西部コミュニティセンター管理運営事業	スポーツ振興課	蒲原東部・西部コミュニティセンター管理運営事業	市（直営）	市民の自治意識の向上、健康の増進及び生活文化の振興のために、身近な地域における交流の場を提供する。	施設の維持管理を行う。	①各種委託契約締結件数 ②施設の小破修繕の実施	①6件 ②実施	①6件 ②実施	5,782	4,562	利用者数	11,081人	10,648人	10,858人	10,153人	過去3か年の利用者数平均値の5%増を目標値として設定した。	11,703人	S	A	必要な契約・修繕を遅滞なく実施し、適正な管理ができたため。	引き続き、地元自治会と連携・調整を図り、適正な維持管理を継続して行う。
70	1	(3)	①	野外活動施設管理事業	スポーツ振興課	野外活動施設管理事業	市（直営・委託）	気軽に自然と触れ合える環境を整備することにより、市民の健康増進とレクリエーションの振興を図る。	キャンプ場、ハイキングコースの維持管理を行うとともに、活動の場の安全対策を図る。	①土地賃貸借契約締結件数 ②謝金の支払件数 ③キャンプ場、ハイキングコースの整備	①41件 ②70件 ③実施	①41件 ②70件 ③実施	51,672	48,590	キャンプ場利用者数	5,039人	4,553人	5,171人	4,674人	過去3か年の利用者数平均値の5%増を目標値として設定した。	4,796人	C	B	利用者の集中する時期に大雨が降った影響等により利用者数は目標値を下回ったが、キャンプ場の整備を適宜行い、事故なく適正な管理ができたため。	引き続き、地元自治会や協議会と連携・調整を図り、適正な維持管理を継続して行う。
71	1	(3)	①	【再掲】清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	清水庵原球場管理事業	市（委託）	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	88,806	88,546	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①100% ②85.6%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①100% ②99.3%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。利用者層の変化に伴い、ニーズも変化していることから、適切な維持管理の実施に努めていく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度
72	1	(3)	①	【再掲】清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	市（委託）	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	212,975	202,791	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.3% ②98.6%	①98% ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①94.8% ②98.7%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外の修繕については、必要性を判断し、対応していく。
73	1	(3)	①	【再掲】スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	スポーツ施設維持管理事業	市（直営・委託）	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施	①3件 ②実施	244,521	235,090	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①95.9% ②96.0%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①97.4% ②94.5%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で修繕が必要となった場合は、必要性を判断し、対応していく。
74	1	(3)	①	【再掲】総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	総合運動場管理運営事業	市（委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件（体育館含む） ②実施	①2件（体育館含む） ②実施	386,462	383,425	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①98.6% ②93.1%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①99.0% ②91.5%	①S ②A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、陸上競技場3種公認に係る協議を踏まえた上での維持管理を実施していく。
75	1	(3)	①	【再掲】体育館管理運営事業	スポーツ振興課	体育館管理運営事業	市（直営・委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件（総合運動場含む） ②実施	①2件（総合運動場含む） ②実施	659,360	635,124	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.6% ②100%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①97.6% ②98.6% ③完了	①S ②A ③A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け、対応することによって安全・安心な施設の提供に努めていく。
76	1	(3)	①	【再掲】日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	日本平運動公園管理事業	市（委託）	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、リーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	138,788	138,695	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①96.1% ②99.2%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①96.7% ②99.6%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、新スタジアムの動向を踏まえた上での維持管理を実施していく。
77	1	(3)	①	【再掲】ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	スポーツ振興課	ふれあい健康増進館ゆ・ら・ら管理運営事業	市（委託）	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①2件 ②実施	①2件 ②実施	229,631	225,532	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.8% ②99.6%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①98.1% ②99.9%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、コロナ禍が収束し、今後は利用者の増加が見込まれることから、受付窓口の混雑緩和のため、オペレーションの見直し等を検討していく。
78	1	(3)	①	農科都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	農科都市山村交流センター管理経費	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	①1件 ②13回	27,039	26,131	利用者満足度	93.8%	95.5%	97.0%	93.6%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	97.5%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	都市部と中山間地域の交流を促進させる講座を一層充実させるため、地域の歴史や文化、伝統食の再調査、またはそれらに精通した人材の発掘に努める必要がある。
79	1	(3)	①	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 清水文化会館管理運営事業	文化振興課	清水文化会館管理運営事業	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都心の賑わい創出を図る。	PFI・指定管理者制度（利用料金制）による館の維持管理・運営（設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等）	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数（モニタリング支援） ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①1件 ②1件 ③3回 ④15回（維持管理・運営）1回（財務）	①1件 ②1件 ③3回 ④15回（維持管理・運営）1回（財務）	262,358	290,367	①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	①500,000人 ②70.0%	①245,961人 ②75.1%	①181,116人 ②68.2%	①73,954人 ②44.0%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業運営業務仕様書」における事業期間第3ターム（令和4年度～令和8年度）で設定した目標値。	①412,659人 ②73.6%	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、利用者数が伸びず、目標値に届かなかったが、その影響を除けば、多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供や施設・設備の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。	多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、引き続き広報等により集客を図り、施設の利用率向上に努めていく。
80	1	(3)	①	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市民文化会館管理運営事業	文化振興課	静岡市民文化会館管理運営事業	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営（受付・案内・利用料金徴収・設備の管理・事業等）修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務報確認・検査件数（年報1件、月報12件）	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	234,772	245,030	①年間利用者数 ②年間施設利用率	①50万人 ②70%	①388,974人 ②62.1%	①234,948人 ②58.9%	①111,400人 ②44.6%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	①375,944人 ②62.9%	①B ②B	B	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限が解除されたものの、目標値を下回ったが、過去2年と比べると利用者数、利用率は改善されており、多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供や施設・設備の適切な維持管理等を適正に実施することができた。	今後も多彩な事業を展開し、施設利用も含めた広報活動に努めるなどし、利用者増加及び利用率向上を図っていく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度	
																	R4	R3	R2							
81	1	(3)	①	児童館運営事業	子ども未来課	児童館運営事業	市（委託）	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供する。	市内13館の児童館の運営	適切な運営施設数	13館	13館	245,757	225,230	①利用者満足度 ②利用者数	①90% ②240,000人	①90.7% ②197,229人	①87.3% ②182,947人	①84.8% ②135,981人 （4、5月閉所）	①指定管理協定により定めている目標値を設定した。 ②ウィズコロナの状況において、地域の児童健全育成の拠点となる児童館は重要な役割を担う施設であり、多くの子育て家庭や児童に利用していただくことを目的に、前年度と同程度の利用者数を目標値とした。	①97.2% ②247,297人	①S ②A	A	利用者数、満足度ともに前年度を上回り目標を達成し、地域の児童の健全育成の拠点として、利用者に対し実施可能な事業・適切な遊びの提供をすることができた。一方で人員配置の課題もあったことから、評価はAとした。	実施可能なイベントや講座等を今後も検討し、計画的に子育て支援事業の提供を実施していく。	
82	1	(3)	①	女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進（女性会館事業）	男女共同参画・人権政策課	女性会館運営管理	市（直営・委託）	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通して市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、LGBTQ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数（年報1件、月報12件） ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了	①1回 ②13件 ③完了	109,994	107,641	①新規利用者数（講座、相談、図書） ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80.0% ③16,500冊 ④実施	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施（1,889件）	①884人 ②- ③16,396冊 ④実施（1,922件）	①957人 ②- ③16,583冊 ④実施（1,938件）	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した（相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する）。	①1,570人 ②96.9% ③17,503冊 ④実施（1,706件）	①S ②S ③S ④A	A	・事業全般的に、若年層（高校生、親子等）に向けた事業を重点的に取り組んだことで、新規利用者数が増加した。 ・図書の予約のPRIに努めることにより、図書貸出冊数も例年を大きく上回った。 ・相談対応件数は若干減少したが、相談員の配置人数を増やし、支援体制とスキルアップに努めた。	・引き続きSNS等を積極的に活用し、講座・相談等を実施することにより、これまで女性会館を利用したことがない潜在利用者（若年層）を掘り起こすこと及び新しい課題やより専門的な講座を実施することで男女共同参画の拠点施設としての機能をさらに充実させていくよう、指定管理者と協議等を行っていく。	
83	1	(3)	①	東静岡地区「アート＆スポーツ／ヒロバ」開設・運営事業	企画課	東静岡地区「アート＆スポーツ／ヒロバ」開設・運営事業	市・補助等（直営・交付先）	「文化・スポーツ等の拠点」として位置付けた東静岡市有地を、本格的な整備方針が決定するまで、「賑わいづくりの実験場」として活用する。	「まちほ劇場プロジェクト」及び「2020年東京オリパラ」を見据えた取組として、大道芸・ダンス・音楽等の様々なジャンルとともに、ローラースポーツやホビー等のイベントを実施する「アート＆スポーツ／ヒロバ」を運営する。	①実行委員会の開催 ②各作業部会の開催	①2回 ②7回	①2回 ②11回	31,340	31,340	①東静岡アート＆スポーツ／ヒロバのローラースポーツパーク利用者人数 ②芝生広場でのイベント開催数	①29,947人 ②10回	①27,225人 ②12回	①28,004人 ②24,790人	①前年度実績の110%を目標とする。 ②例年開催する8回に加え、イベント誘致等による、2回を加えた10回とした。	①26,189人 ②13回	A	A	ローラースポーツパークの利用者数は目標に達しなかったものの、芝生広場でのイベントが目標を上回ったため。	パーク利用者数が前年と比較し約4%減少した。2024年にはバリアフリーの、芝生広場のイベントが目標に向けて取組を講じていく		
84	1	(3)	①	文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	産業政策課	文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	市（直営・委託）	文化・クリエイティブ産業の活性化を通じ、新産業の創出や地域の賑わいづくりを行う	①大道芸、劇団などのパフォーマンスアーツを支援する取組 ②クリエイターの集積と育成を図る取組 ③文化・クリエイティブ産業を振興するための啓蒙・啓発を進める取組（展示会・セミナー等） ④企業とクリエイターとのマッチングを促進する取組	①指定管理関係業務（協定締結、年度評価、指定管理料支払業務等） ②管理運営に係る指導、助言	①事務処理の円滑な実施 ②月例会議（PD（プログラムディレクター）会議）への参加	①事務処理の円滑な実施 ②12回	90,645	89,594	①利用者数 ②利用者満足度 ③クリエイターと企業のマッチング件数 ④クリエイターの集積数	①40,000人 ②90% ③6件 ④3者	①43,820名 ②90% ③16件 ④0者	①38,191人 ②86% ③10件 ④5者	①33,864人 ②86% ③8件 ④4者	指定管理業務仕様書【R5～R9】で定める指標を目標値に設定した。（過去の実績等を踏まえて各指標を設定。）	①58,251名 ②85.6% ③12件 ④4者	A	A	①コロナが5類となり、イベントの参加者数が回復し、目標値を達成することができた。 ②は、85.6%と目標値を下回ったが、セミナーやイベントに関しては、目標値の90%を上回った。 ③コロナが5類となり、講演やワークショップに関連する内容のマッチングが増加したため、目標値を大きく上回る結果となった。 ④コロナが5類となり、補助金利用者数が戻ったことや施設の積極的な周知もあり、当該年度の実績は4となった。	・今後もクリエイター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業の実施を推進する。 クリエイターの集積については、他の家賃補助制度との整合性を図りつつ、利用者に適した補助制度を紹介できるよう周知を行っていく。	
85	1	(3)	①	老人憩いの家における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	老人憩いの家運営事業	市（直営・委託）	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の場の提供し、老人の心身の健康増進を図る。	①各種相談事業、健康増進、教養の向上、レクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	①随時 ②随時	22,956	22,556	利用者満足度	90.0%	98.3%	99.1%	95.2%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	99.2%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	
86	1	(3)	①	世代間交流センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	世代間交流センター管理運営事業	市（直営・委託）	世代間の交流活動を通じて、豊かな地域社会の形成に資する。	①高齢者と地域住民等が相互に交流することを促進し、地域の伝統文化を継承する事業及び世代間の交流に係る教養の向上、レクリエーション等の場を提供する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	①随時 ②随時	58,917	58,710	利用者満足度	90.0%	99.1%	98.4%	90.0%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	98.6%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	
87	1	(3)	①	老人福祉センター等における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	老人福祉センター運営事業	市（直営・委託）	老人に対し、各種相談に応ずるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し活動の指導及び推進を図る。	①各種相談事業及び健康増進、教養向上及びレクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	①随時 ②随時	251,371	247,433	利用者満足度	90.0%	96.7%	97.1%	90.4%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	97.7%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。	
②展示等による鑑賞・学習機会の提供																										
88	1	(3)	②	登呂博物館管理運営業務	文化財課	登呂博物館管理運営業務	市（直営）	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。	○幅広い分野の展示 ○講座・講演会等教育普及事業の実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業の開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②25回 ③2回	①4回 ②26回 ③2回	68,519	64,993	博物館の入館者数	169,000人	161,181人	118,132人	97,168人	登呂遺跡発見80周年事業を実施することを鑑み、前年度実績の5%増を目標値として設定。	165,820人	A	A	特別展、企画展、教育普及事業等を実施した。 目標値を下回る（1.9%減）結果となったが、昨年度以上の入館者数を確保することができた。	弥生時代の生活体験を通じて遺跡の魅力をより深く理解してもらうため、教育普及事業の実施など情報発信を取り組んでいく。	

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所 属 名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 （千円）	決算額 （千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度			
																	R4	R3	R2						
89	1	(3)	②	三保松原文化創造センター管理運営	文化財課	三保松原文化創造センター管理運営	市（直営・委託）	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、三保松原と他の文化や芸術と融合させた松原文化を創造していく。	○建物の保守、管理 ○展示の保守、管理 ○企画展の開催	①年間を通しての開館 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③4回	①実施 ②実施 ③4回	32,286	27,829	来館者数	440,000人	423,100人	253,302人	322,643人	前年度（40万人）の10%増を目標値とする。	500,462人	S	A	年4回の企画展のほか、関連イベントなどを開催した。しかしながら、コロナ禍の影響が改善しつつある社会的要因が主であり、当初の数値目標に近づけていくためには、更なる取り組みの充実を図ることが必要と認識しているため。	三保松原と施設への関心を高めるため、企画展の開催に加え、幅広い年代が参加できる関連イベントや市民団体等と連携した展示を実施し、更なる集客を目指す。
90	1	(3)	②	科学への関心を高めるための各種事業の実施（静岡科学館事業）	文化振興課	静岡科学館管理運営事業	市（直営・委託）	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	指定管理者制度による施設、展示物の維持管理を行うとともに科学の実演会及び講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	312,950	311,802	①年間来館者数 ②事業満足度※R5から（R4までは連携事業回数を指標としていた。）	①250,000人 ②95,0%	①161,063人 ②184回	①110,813人 ②185回	①76,132人 ②114回	指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①190,290人 ②99,1%	①B ②S	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、事業の中止は無かったものの、来館者数は伸び悩み、目標値に届かなかったが、施設・展示物の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。また事業者満足度については目標値を上回る結果となった。	SNSや展示物を活用した広報活動等により来館者の増加に努めていく。
91	1	(3)	②	興津坐漁荘記念館管理運営事業	観光・MICE推進課	興津坐漁荘記念館管理運営事業	市（委託）	興津地区および周辺地域を結びつけ、観光コースの拠点として地域の活性化と観光振興を図る。	施設の維持管理運営及び観光情報を発信し集客対策を行う。	①事務の適正な実施 ②東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年4回以上	①実施 ②3回	8,829	8,817	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度（5段階評価で4以上の割合）	①5,943人 ②80%	①7,386人 ②99,9%	①5,463人 ②89,6%	①4,979人 ②—	①施設改修工事による影響も考慮し、直近3年の平均値を目標値とした。 ②当該所管の指定管理施設の業務仕様書に設定している来場者アンケート満足度と同じ数値を指標として設定した。	①7,877人 ②98,4%	①S ②S	S	ライトアップ、ウォーキング等のイベント、企画展示や情報発信の効果もあり、来館者数は目標を上回った。 また、展示内容やスタッフ対応について、高い満足度が得られた。	施設リニューアル工事中も通常通りの開館を継続し、入館者数はコロナ前には回復しないものの、増加傾向にある。ウォーキングイベントとの連携、朝鮮通信使、清見寺等周辺施設との連携による周遊促進、地元の子もたちを中心とした積極的な教育普及を通じ、東海道の興津宿の観光拠点としての魅力発信に取り組んでいく。
92	1	(3)	②	芹沢銈介美術館管理運営事業	文化振興課	芹沢銈介美術館管理運営事業	市（直営）	静岡市名誉市民であり型絵染の人間国宝・芹沢銈介の芸術を永く後世に伝える。美術に関する知識の向上と文化の発展に寄与する。	芹沢銈介の型絵染の作品等や芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催件数 ③開館日数	①4回 ②15回 ③257日	①4回 ②10回 ③257日	83,133	70,383	①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①30,000人 ②96,6%	①32,363人 ②95,8%	①28,013人 ②95,2%	①11,994人 ②98,8%	①コロナ前の実績を考慮し設定した。 ②観覧者アンケートの満足度の直近3か年の平均を考慮し設定した。	①30,925人 ②95,4%	①A ②A	A	新型コロナウイルス感染症拡大前の実績を考慮した目標設定としたが、期待どおりの来館者を得ることができた。	来館者のさらなる増加に向けて、新たな情報発信に取り組むなど、美術館の認知度向上に努めていく。
93	1	(3)	②	市民ギャラリー事業の実施	文化振興課	市民ギャラリー管理運営事業	市（委託）	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①1件 ②12件 ③1件	①1件 ②12件 ③1件	7,004	6,972	年間利用率	68,36%	50,60%	59,10%	34,55%	令和元年度の実績値（68,36%）を基に設定。	50,30%	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大前と同等の実績を見込んでいたものの、利用率が回復せず目標値に届かなかった。	利用率の向上を図るため、引き続き広報手段の検討、照明設備等展示室のリニューアルを順次実施していく。
94	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡音楽館管理運営事業	文化振興課	静岡音楽館管理運営事業	市（直営・委託）	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が音楽文化に触れる機会を提供するため、各種コンサートや講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	336,109	322,718	①施設利用率（年間平均） ②定員に対するコンサート入場者数の割合（年間平均）	①84,0% ②70,0%	①76,2% ②64,7%	①68,7% ②54,7%	①60,1% ②75,8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①77,9% ②67,1%	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、事業の中止も無く利用率は毎年上昇傾向にあるものの、目標値に届かなかった。	施設利用者の裾野を拡大するため、市民の鑑賞機会拡大や地域の音楽家の支援・育成を図り、事業内容を充実させていくことで、施設利用率向上とコンサート入場者数の増加に努めていく。
95	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市美術館管理運営事業	文化振興課	静岡市美術館管理運営事業	市（直営・委託）	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展示や講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	380,931	354,307	①累計入館者数（150万人・R2～R6） ②展覧会事業における来場者満足度（年間平均）	①30万人（150万人/5年） ②85%	①202,136人 ②95,5%	①191,275人 ②94,8%	①235,248人 ②92,8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①286,128人 ②96,0%	A	A	成果指標である年間入館者数は目標を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響からは回復傾向にある。また、展覧会満足度は目標を大きく上回って達成することができた。活動指標も着実に達成しており、事業計画に従い概ね良好に実施できたと考える。	効果的な広報手段を検討することや、事業内容の充実を図ることにより、入館者数の増加に努めていく。
96	1	(3)	②	市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 中勤助文学記念館管理運営事業	文化振興課	中勤助文学記念館管理運営事業	市（委託）	作家中勤助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動の場として広く市民の文化向上に寄与すること。	「中勤助文学記念館」の日常管理運営及び中勤助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数（月報12件）	①8件 ②12回	①8件 ②12回	7,792	7,364	年間来場者数	2,116人	1,886人	1,695人	1,252人	令和元年度の実績値（2,116人）を基に設定。	2,178人	A	A	活用事業及び顕彰事業を通して、新規顧客層の取り込みにより一定の成果を上げることができ、新型コロナウイルス感染症拡大前の来場者数を上回った。	顕彰事業及び記念館活用事業の実施により、新規顧客層の獲得を含め、引き続き来館者の増加に努めていく。
97	1	(3)	②	駿府匠宿運営事業	産業振興課	駿府匠宿運営経費	市（直営・委託）	今川、徳川時代から受け継がれてきた伝統工芸とその後継った近代産業をテーマにした体験型施設「駿府匠宿」を運営し、創作体験や各種展示を通じて、来場者が工芸に親しみ、歴史に触れる機会を提供して、本市地場産業の振興を図る。	①「駿府匠宿」の管理・運営を指定管理者制度のもとに実施 ②本市伝統工芸や地場産業を体験できる場を提供	①協定締結事務件数 ②年度評価回数 ③定例会実施回数	①1回 ②1回 ③12回	①1回 ②1回 ③12回	235,013	234,857	①創作体験者数 ②利用者満足度	①22,400人 ②90%以上	①29,513人 ②97,8%	①22,512人 ②95,0%	①14,093人 ②99,5%	①②指定管理業務仕様書に規定する創作体験者22,400人、利用者アンケートによる満足度90%以上を目標値として設定した。	①29,863人 ②96,4%	S	S	指定管理者の創意工夫により創作体験者数が目標値を大きく上回り達成したため。	創作体験者数の減少がないように創作体験の内容の更新を今後も行っていく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度			
98	1	(3)	②	図書館管理運営事業	中央図書館	図書館管理運営事業	市（直営）	12館の図書館施設及び移動図書館の安全で安心できる維持管理を行う。	施設の適切な維持管理を行う。	①委託事業件数 ②設備点検/維持管理作業件数	①67件 ②11件	①61件 ②30件	373,638	354,831	①図書館施設の瑕疵による事故件数 ②図書館施設の瑕疵による閉館日数	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①0件 ②0日	①直近3か年の実績は0件である。図書館施設は全体的に老朽化が進んでいるが、今後も計画的な設備点検や委託事業等を実施し、利用者が安全で安心できる施設の維持管理を確実に実現する必要があることから、図書館施設の瑕疵による事故件数0件を目標値として設定した。 ②直近3か年の実績は0日である。今後も計画的な設備点検や委託事業等を実施し、図書館施設の瑕疵による閉館という事態で利用者の不利益になることを防ぐ必要があることから、図書館施設の瑕疵による閉館日数0日を目標値として設定した。	①0件 ②0日	A	A	利用者にとって安心安全な施設の維持管理ができ、図書館施設の瑕疵による事故や、閉館という事態で利用者の不利益になることを防ぐことができた。	図書館施設は各館とも全体的に老朽化が進んでいるため、今後も計画的な設備点検や施設保全のための委託業務を確実に実施していく必要がある。また、アセットマネジメント計画に基づき、各館の施設改修について関係課と連携し、新たな計画の着実な推進を図る。
99	1	(3)	②	清水港船舶記念館管理運営事業	観光・MICE推進課	清水港船舶記念館管理運営	市（委託）	次郎長翁の功績と清水地区の歴史、文化を紹介することで、清水港エリアのまち歩き観光の拠点として活用する。	施設の維持管理運営を行う。また、指定管理者の行う事業により、施設の高度利用と魅力づくりを図る。また、清水港エリアのまち歩き観光の拠点として活用する。	①指定管理事務の実施 ②連絡会議の開催 ③東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年4回以上 ③年4回以上	①実施 ②4回 ③3回	8,399	8,198	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度（5段階評価で4以上の割合）	①10,000人 ②80.0%	①7,350人 ②92.4%	①4,330人 ②84.2%	①4,783人 ②83.7%	①指定管理者が事業計画書で設定している当該年度の目標値を指標として設定した。 ②指定管理業務仕様書に設定している来場者アンケート満足度の目標値を指標として設定した。	①7,739人 ②88.8%	①C ②A	B	来館者数は前年度比で約5%増加したものの、約5か月間の改修工事の影響で期間中の来館者が前年度比減となり大きな回復に至らず、目標来館者数を達成できなかった。 一方、施設改修工事中も来館者に丁寧な案内をしたり、リニューアルに合わせ展示構成を見直すなどの対応に努めたことで、来場者から高い満足度を得られた。	クルーズ船客の来館増など好影響が出ているが、引き続き施設の認知度向上や改修工事を活かした施設の魅力を発信に努めるとともに、展示内容の工夫、インバウンド対応や季節に合わせたイベントの実施等、来館者数の増加に向けた取組を積極的に進める。
100	1	(3)	②	静岡市東海道広重美術館管理運営事業	観光・MICE推進課	東海道広重美術館管理運営事業	市（委託）	東海道五十三次を代表作とする歌川広重の浮世絵を所蔵し、市民・観光客に広く閲覧することで、文化の振興と、街道観光に寄与する。	施設の維持管理運営を行う。また、指定管理者の事業により、施設の高度利用と魅力づくりを図る。また、広重美術館及び由比本陣施設指定管理者とともに集客対策を進める。	①指定管理業務の実施 ②連絡会議の開催 ③東海道まちあるきウェブサイトへの情報掲載	①実施 ②年6回以上 ③年4回以上	①実施 ②12回 ③6回	37,959	37,139	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度（5段階評価で4以上の割合）	①21,500人 ②80.0%	①16,766人 ②86.4%	①13,484人 ②84.2%	①10,607人 ②83.7%	①指定管理者が事業計画書で設定している当該年度の目標値を指標として設定した。 ②指定管理業務仕様書に設定している来場者アンケート満足度の目標値を指標として設定した。	①26,319人 ②88.4%	①S ②S	S	他の施設・団体との連携を展覧会事業に活かし、様々な切り口で幅広い層へ浮世絵文化の魅力を発信することで目標の来館者数を大幅に上回った。 また、利用者の希望に合わせた展示解説を行うことにより来場者満足度の目標値を大幅に上回った。	設定した成果指標は目標値に達しているが、インバウンドや小学生への教育普及事業については、改善の余地がある。英語解説による来館対応や市内内外への出前講座を実施し、さらなる来館者増加を図っていく。
101	1	(3)	②	埋蔵文化財センター管理運営事業	文化財課	埋蔵文化財センター管理運営事業	市（直営）	埋蔵文化財センターの円滑な管理運営と共に出土遺物の調査整理と展示公開を行い、市内の埋蔵文化財について顕彰する。	①発掘調査した遺跡の資料整理作業と出土遺物の保管・管理を行う。 ②整理作業の終了した遺物の展示や遺跡の紹介を行う。	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②3回	①426点 ②3回	50,164	48,561	①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②2,276人	①2件 ②2,168人	①1件 ②1,389人	①2件 ②893人	①施設設置の本来目的である出土資料の整理作業の結果として作る、年報など報告書完成件数を目標値とした。 ②調査成果を公開した企画展開催等による年間来館者数を、前年度5%増を目標値とした。	①3件 ②1,800人	①S ②B	A	来館者が目標よりも少なかったが、年度途中に急きょ依頼の入った発掘調査報告書を刊行して当初予定件数以上の報告書を作成、刊行した。	実施した発掘調査の規模によって実測する遺物の特徴が異なるが、安定的に実測を進めて、報告書にまとめられるよう、正確・迅速な実測作業のスキルを磨き、報告書を作成する体制を維持、強化していく。
2 学びを地域や社会に活かすための支援の充実																									
(1) 地域や社会を担う人材の養成																									
①シチズンシップに富んだ人材の養成																									
102	2	(1)	①	地域デザインカレッジ2023（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進	静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業	市（直営）	地域の課題を正確に把握し、地域住民とともに解決策に取り組むことができる人材を養成する。	地域の課題を解決するスキル習得の学習機会と、課題解決に向けたチャレンジの場を提供する講座の実施。	講座回数	5回	5回	4,325	3,378	①受講した人のうち、シチズンシップが身に付いた人の割合 ②修了生数	①100% ②10人	①100% ②10人	①100% ②6人	①100% ②12人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②10人	①A ②A	A	成果指標①、②とともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。
103	2	(1)	①	駿河区地域の人材育成事業 駿援隊（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進	静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業	市（直営）	地域コミュニティ（自治会・町内会等）をリーダーとともに支える人材を育成する。	女性目線の防災講座の実施。（駿河区地域総務課）	講座回数	4回	4回	650	637	①受講した人のうち、シチズンシップが身に付いた人の割合 ②修了生数	①100% ②22人	①100% ②22人	—	—	①②講座中止でR3、R4のデータが無いため、前年度実績を基に設定した。	①94.3% ②37人	①A ②S	A	成果指標①、②とともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。
104	2	(1)	①	UDOまちづくりベース（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	まちづくりに関わる実践活動や組織づくりができる人、さらにはリーダーを育てていくこと。	理想的なビジョン（住み続けたいと思うまちの姿）の「活動の実践」や「既存事業の持続化」に寄与する学びや交流の場を提供する講座の実施。（有度生涯学習交流館）	講座回数	4回	4回	指定管理料の一部	指定管理料の一部	①受講した人のうち、シチズンシップが身に付いた人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	—	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①100% ②22人	①S ②B	A	成果指標①は目標を9割以上達成し、②が受講者25人に対し修了生22人と目標の9割を下回ったものの、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。
105	2	(1)	①	多文化共生サポーター養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業	市（直営）	日本人と外国人住民の交流を増やし、地域の支えあいを進めることができる「多文化共生サポーター」を養成する。	多文化共生を進めるために重要となる、地域の課題の把握や、やさしい日本語のスキルなどを学ぶ機会を提供する講座の実施。（国際交流課）	講座回数	5回	5回	186	124	①受講した人のうち、シチズンシップが身に付いた人の割合 ②修了生数	①100% ②20人	①100% ②19人	①100% ②19人	①100% ②21人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②16人	①A ②B	A	成果指標①は目標を9割以上達成し、②が受講者19人に対し修了生16人と目標の9割を下回ったものの、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）										評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度				
106	2	(1)	①	「消費の賢者」ウェブセミナー（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	人・社会・地域・環境に配慮した「エシカル消費」等の知識を得て、地域・学校・職場などにおいてその実践ができる消費者市民を育成する。	消費者として知っておきたい契約の基礎知識や消費者トラブルの事例、悪質商法の手口とその対処法などを学ぶオンライン講義の実施。（生活安全安心課）	講座回数	4回	4回	173	122	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②8人	①100% ②8人	①100% ②7人	①100% ②7人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②3人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が受講者10人に対し修了生3人と目標の7割を下回り、課題が残る結果となった。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
107	2	(1)	①	環境大学（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	環境全般について専門的な知識を修得し、身の回りの環境問題の解決に向かって主体的に取り組む環境学習リーダー・学習支援スタッフを育成することにより、よりよい静岡市の環境を将来の世代へ継承することを目指す。	多彩な大学教授・現場を熟知する専門家が講師となり、環境問題を様々な視点から捉え、自らが行動するための知識や実践的な技能を学ぶ講座の実施。（こみ減量推進課）	講座回数	10回	13回	678	450	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②25人	①100% ②25人	①100% ②20人	①100% ②15人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②24人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
108	2	(1)	①	市民生きもの調査員養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	生物多様性保全のために生きもの調査を実施できる人材を養成する。	市内に生息する多種多様な生きものの調査を実施できる人材の養成を行うために、生きものの見分け方やモニタリング手法を学び、専門家と共にフィールドに出て実際に調査を行う講座の実施。（環境共生課）	講座回数	6回	6回	165	115	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①97.2% ②22人	①94.4% ②21人	①100% ②23人	—	①②R3から新設講座のため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①94.1% ②20人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
109	2	(1)	①	観光ボランティアガイド養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	観光ガイドによるおもてなしやガイドを行なうことで、観光地の魅力度を向上させ、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	観光ボランティアガイドとして活動している団体の会員から、ガイドとしておもてなしをするうえで必要となる心構えや、市内の観光地を案内する際のポイント等を学ぶ講座の実施。（観光・MICE推進課）	講座回数	6回	6回	200	193	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②24人	①100% ②24人	①100% ②12人	①100% ②4人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②16人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が受講者20人に対し修了生16人と目標の7割を下回り、課題が残る結果となった。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
110	2	(1)	①	英語deおもてなしサポーター養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	クルーズ船乗船客等に対しておもてなしやガイドを行なうことで、観光地の魅力度を向上させ、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	主にクルーズ船寄港時に、英語でのガイドをしている団体の会員から、海外の方をおもてなしをするうえで必要となる心構えや、英語で案内する際のポイント等を学ぶ講座の実施。（観光・MICE推進課）	講座回数	6回	6回	350	345	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①96.1% ②20人	①88.2% ②20人	①100% ②9人	①100% ②4人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①84.2% ②19人	①B ②A	A	成果指標①が目標の9割をわずかに下回ったものの、②は目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
111	2	(1)	①	文化財サポーター（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	市内の貴重な歴史資源の保護や活用、情報の発信におおきな役割を担う人材の養成。	文化財の現地見学や講義を通して、文化財の保護・活用について基礎的な知識を学ぶ講座の実施。（文化財課）	講座回数	5回	5回	347	104	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②12人	①100% ②6人	①100% ②16人	①93.3% ②14人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②14人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
112	2	(1)	①	食育ボランティア人材養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	身近な食を改めて学び直すことで、食育活動への興味を高め、食育活動の普及啓発及び潜在的な担い手を掘り起こす。	誰もが向き合う「食」をテーマに、医療、栄養、料理だけでなく、厨房見学や調理実習、参加者同士のディスカッションなど「体験価値」を通じ、身近な視点から「楽しく」学ぶ講座の実施。（健康づくり推進課）	講座回数	10回	10回	546	277	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	—	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①95.8% ②27人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
113	2	(1)	①	運動でつながる～スキルを活かそう～（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	「運動」をテーマに、自らが持つスキルを地域で活かす具体的な方策と契機を提供することで、地域で活動する人材の発掘と育成を図る。	「運動」をテーマに自身が伝えられること・伝えたいこと等を整理しながら講座として企画し、シミュレーションと実践を行う講座の実施。（駿河生涯学習センター）	講座回数	5回	5回	指定管理料の一部	指定管理料の一部	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②8人	①100% ②8人	—	—	①②R4から新設講座のため、前年度実績を基に設定した。	①100% ②5人	①A ②C	B	成果指標①は目標を9割以上達成したが、②が受講者6人に対し修了生5人と目標の7割を下回り、課題が残る結果となった。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
114	2	(1)	①	地域支え合い人材養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	地域における高齢者の現状や課題を把握し、高齢者のための通いの場や居場所づくりなどの地域支え合い活動におけるリーダーとなる人材を養成する。	地域における高齢者の現状や課題を把握し、高齢者のための通いの場や居場所づくりのために必要なことを講義形式で学び、さらに、実践者からの報告、グループワーク等により具体的な活動をイメージしていく講座の実施。（地域包括ケア・誰もが活躍推進本部）	講座回数	5回	5回	594	557	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①100% ②9人	①100% ②9人	①100% ②5人	—	①②講座中止でR2のデータが無いため、直近2か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②14人	①A ②S	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、②が受講者17人に対し修了生15人と目標の9割を下回ったものの、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
115	2	(1)	①	市民後見人養成講座（基礎編）（こ・こ・に地域チャレンジ学部）※隔年実施	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	認知症高齢者等が増加する中、成年被後見人を地域で支える体制を構築するために、その新たな担い手として市民後見人を養成する。	成年後見制度の概要や対象者理解などを、実習を交えて学ぶ講座の実施。（福祉総務課）	講座回数	隔年開催のため未実施	—	—	—	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	—	①100% ②13人	—	①100% ②16人	①②隔年開催でR5は未実施。	隔年開催のため未実施	—	D	—	—	
116	2	(1)	①	再犯防止に関する支援者養成講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	再犯防止の推進に理解ある市民を増やし、犯罪をした者等の社会復帰を推進する。	犯罪等をした者等の処遇についてや（保護観察や保護司制度等）、社会復帰のための就労・居住支援の制度について学び、再犯防止の推進について理解を深める講座の実施。（福祉総務課）	講座回数	7回	7回	233	40	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①80% ②20人	—	—	—	講座実施初年度となるため、①を80%、②を定員数に設定した。	①100% ②15人	①S ②B	A	成果指標①は目標を9割以上達成し、②が受講者17人に対し修了生15人と目標の9割を下回ったものの、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
117	2	(1)	①	アイボランティア入門講座（こ・こ・に地域チャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	視覚障がいのある人を支援するボランティアを養成する。	視覚障がいへの理解を深め、視覚障がいのある方々との座談会や、点訳、盲訳、ガイドヘルプなどの体験を行い、必要なサポートを学ぶ講座の実施。（障害福祉企画課）	講座回数	7回	7回	171	165	①受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了生数	①96.3% ②11人	①88.9% ②11人	①100% ②14人	①100% ②5人	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②17人	①A ②S	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）										評価及び次年度以降に向けた課題・改善など																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
																	R4	R3	R2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額 （千円）	決算額 （千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度	
																	R4	R3	R2							
130	2	(1)	①	要約筆記者養成講座	障害福祉企画課	要約筆記者養成研修事業	市（委託）	聴覚に障がいのある人の交流活動の促進及びコミュニケーションを支援する人材を養成する。	聴覚に障がいのある人のコミュニケーション支援の一つとして、要約筆記を行う人材を養成する講座の開催	①②ともに講座開催数	①23回 ②2回	①23回 ②2回	873	872	①②ともに受講者数	①20人 ②30人	19人	1人	3人	①受講生の減少により事業の見直しを行い、令和4年度より県との共催事業となったため、R4～県講座の定員数を目標値とした。 ②R5年度からの新規事業のため定員数を目標値とした。	①22人（県内） ②33人	S	S	目標とおり講座を開催し、受講者は目標人数を上回ったため。	R4年度から県との共同実施とし、受講希望者への訴求力を高めるとともに、事業実施の効率性を高める。	
131	2	(1)	①	静岡市型人材養成事業	障害福祉企画課	静岡市型人材養成事業	市（委託）	本市に在住する重症心身障がい児（者）の方への支援体制を充実させるため、事業所職員、看護師の他、当事者の保護者にも講師に加わってもらい、利用者目線を重視した「静岡市型人材養成事業」を実施する。	重症心身障がい児（者）対応の既存施設、親の会等との連携により、利用者目線の実践的な支援技術を身に付けるための研修等を実施	人材養成講座の開催	実施	実施	387	384	講座実施回数	10回	11回	8回	0回	過去3年間の実績値より目標値を設定した。（コロナ禍により実施できなかった令和2年度を除く）	14回	S	S	講座の周知が各学校に広がり、講座実施回数が増え、より多くの学生が講座を受講することができたため。	引き続き講座を実施し、周知を行い、講座を実施する学校の新規開拓をしていく。	
132	2	(1)	①	手話奉仕員養成講座	障害福祉企画課	手話奉仕員養成研修事業	市（直営・委託）	聴覚障がい、または言語機能に障がいがある人（聴覚障がい者等）のコミュニケーションを支援する手話通訳者を育成するための人材（手話奉仕員）を養成する。	手話通訳者を養成するため、その基礎となる手話奉仕員養成講座を開催	手話奉仕員養成講座の開催	92回 （昼の部46回、夜の部46回）	92回 （昼の部46回、夜の部46回）	1,876	1,876	受講者数	53人	51人	51人	57人	安定した受講者数の確保を目指すため、過去3年の受講者数の平均値を目標値として設定した。コロナウイルスの影響によりR3年度は中断となったため、R4年度はR3年度受講生がそのまま受講した。	63人（昼の部30人、夜の部33人）	S	S	目標値を上回ったため。	今後も受講生確保のための周知と、修了生に向けた県講座への受講に繋げるべく働きかける。	
133	2	(1)	①	地域学校協働活動推進事業	教育総務課	地域学校協働活動推進事業	市（直営・委託）	学校と地域が連携・協働することにより、地域全体で子どもたちの健やかな育成を図る。	①全小中学校で学校応援団活動を実施 ②地域との連携・協働による円滑な放課後子ども教室の運営 ③統括・地域学校協働活動推進員の配置	①学校応援団実施校数 ②放課後子ども教室実施校数	①126校 ②81校	①126校 ②81校	106,422	89,196	①地域の子どもは、学校だけでなく、地域住民も主体的に関わり育てていくものとする地域住民の割合 ②放課後子ども教室参加児童の満足度「楽しい、どちらかという楽しい」	①85% ②100%	①— ②91%	①— ②94%	①— ②96%	①地域へのアンケート調査により、算出。全ての小中学校で地域との連携が実現することを目指し設定した。 ②児童へのアンケート調査により、算出。全ての児童に安全安心な場の提供ができていくか判断するため、満足度を指標とした。	①98.9% ②92.1%	①A ②A	A	統括的な推進員と地域学校協働活動推進員による支援活動や、おたより・リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校支援活動の推進や放課後子ども教室を実施することができたため。	放課後子ども教室での活動内容がパターン化する傾向があることから、今後も研修会で推進員同士が意見交換する場を設け、児童がより楽しめる内容を企画できるように支援する。	
134	2	(1)	①	認知症サポーター養成講座	ア・地域推進本部が活躍	認知症施策等総合支援事業（経常）	市（直営）	認知症の発症初期から地域における認知症の人への支援体制の構築を図る。	認知症サポーターの養成	認知症サポーター養成講座の開催数	110回	97回	1,964	1,059	サポーター養成数	3,800人	2,404人	2,226人	2,802人	新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年度以前の養成数を考慮し、目標値を設定した。	2,744人	B	B	養成者数は増加しているものの、目標より不足した数となったため。	近年増加している若年層を対象とした開催をさらに活性化させるための周知を行うとともに、企業等大規模な実施が可能な団体への周知を強化する。	
②地域経済を担う人材の養成																										
135	2	(1)	②	アイセル女性カレッジ（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	地域や職場でリーダーとして活躍できる女性の人材育成を目的とする。	防災分野に女性の視点、男女共同参画の視点が必要であることを理解し、自治会、自主防災会などの場で、主体的に活動するきっかけや情報が得られる講座の実施。 （男女共同参画・人権政策課）	講座回数	7回	7回	指定管理料の一部	指定管理料の一部	①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②17人	— ②17人	— ②15人	— ②19人	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②21人	①A ②S	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
136	2	(1)	②	しずおか教師塾（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	教育に対する情熱や使命感をもち、公教育が抱える現在の多様な教育的ニーズに正面から取り組むことができ、人を敬い、子どもを愛し、次代を担う人づくりへの職責を果たし、市民から信頼される人材を育成する。	人間力を磨くための「人学（ひとまなび）講座」「及び教師力を高めるための「教育講座」を中心に、宿泊体験講座や未来講座等の講座の実施。 （教職員課）	講座回数	15回	15回	2,109	1,989	①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②24人	— ②24人	— ②23人	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①100% ②30人	①A ②S	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。		
137	2	(1)	②	ヘルシー食deブランドینگ飲食関係者向け専門講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	ヘルシーメニュー提供の意義や技術的指導を実施。また、提供だけでなく手段として社会課題解決に生かせる人材を養成	ヘルシーメニュー提供に向けた技術的指導やマーケティング、ブランドینگを学びながら取り組み、食を社会課題解決に生かす手法を学ぶ講座の実施。 （健康づくり推進課）	講座回数	5回	8回	1,060	990	①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②5人	—	—	—	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②講座実施初年度となるため定員数に設定した。	①100% ②5人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
138	2	(1)	②	ライフデザイン・ワークショップ・ファシリテーター養成講座（こ・こ・にキャリアチャレンジ学部）	生涯学習推進課	静岡シズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営・委託）	就職氷河期世代をはじめとする、働くことに課題や困難を抱える方の再チャレンジを応援することができる人材を育成し、地域で人を支える体制を構築する。	ライフデザイン・ワークショップやライフデザイン・ダイアログ等の各種プログラムにファシリテーターとして参加する人材を育成するため、ライフデザインの考え方を学び、ファシリテーターに必要な知識の習得を目指す講座の実施。 （地域包括ケア・誰もが活躍推進本部）	講座回数	8回	16回 （8回×2）	3,680	3,680	①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②30人	— ②30人	—	—	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②R4から新設講座のため、前年度実績を基に設定した。	①96.8% ②36人	①S ②S	S	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	
139	2	(1)	②	高校生まちづくりスクール（ビジネス編）（高校生チャレンジコース）	生涯学習推進課	静岡シズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	高校生の地域社会への関心を促し、まちづくりの担い手となる人材を育成する。	地域の課題をビジネスの手法によって解決する提案について、マーケティングやブランドینگを学びながら取り組む講座の実施。	講座回数	5回	5回	1,358	1,285	①受講した人のうち、仕事や就活活動に活かせると思った人の割合 ②修了生数	①80% ②25人	— ②16人	— ②42人	— ②24人	①新たな指標となるため、80%に設定した。 ②講座定員を基に設定した。	①100% ②24人	①A ②A	A	成果指標①、②ともに目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。	

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など										
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容								
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度							
																		R4	R3	R2												
140	2	(1)	②	生涯学習事業	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業(清水区)	市（直営・委託）	各生涯施設における現代的課題及び地域課題を扱った講座等の実施	多様性の尊重、社会的包摂、消費者問題、金融、税金等を扱った講座の実施（a.k）	講座回数	各2回以上	センター11施設中、全ての施設で達成 交流館21施設中、20施設で達成	指定管理料の一部	指定管理料の一部	受講生満足度	91.6%	91.6%	87.8%	91.8%	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	88.8%	A	A	実施施設数、満足度ともに目標の9割を超え、目的に沿った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に伴い、地域や社会に求められる人材も変化するため、求められる人材に合わせた講座実施に取り組んでいく。							
141	2	(1)	②	地場産業後継者育成事業	産業振興課	地場産業後継者育成事業	市（直営）	地場産業界の後継者確保と後継者育成及び新規就業者の支援を行う。	①地域産業団体での最長3カ月の現場実習を支援（短期支援事業） ②伝統産業で最長2年間の技術習得を支援（長期支援事業） ③物作りで生計を立てようとする者の独立を支援（独立支援事業） ④長期支援修了者を雇用した事業主を支援（雇用奨励金）	実習生への訪問	1人2回	1人2回	11,796	11,949	新規制度利用者数 ①長期支援 ②独立支援	①3人②-	①4人②-	①3人②2人	①2人②1人	①②毎年度予算の範囲内で新規を募集しているため。（同水準を維持していくことにより、伝統工芸の後継者が着実に増えていくため。）	①3人②-	A	A	長期支援事業の新規制度利用者数が目標を達成し、独立支援事業の新規利用者はなかったものの、長期支援事業修了者は実習先事業所での雇用が継続しており、地場産業界への従事は定着しているため。	後継者不足の深刻化に併せ、制度内容を時代に適したものと見直しを行っていく。							
142	2	(1)	②	アグリチャレンジパーク蒲原の運営	農業政策課	蒲原畑総区域内公共用地活用事業	市（直営・委託）	新規就農者の育成及び市民に対する農業の啓発を実施し、農業に対する理解を深める。	新規就農者育成のための研修実施及び市民対象の農業体験イベントの実施。	①研修ほ場を利用した農業研修生の確保 ②農業体験イベント参加組数	①6区画②300人/または100組/年	①6区画②391人/130組/年	5,180	3,841	新規就農者の養成研修（年間）	30回	30回	30回	30回	新規就農者育成のための栽培講習・経営講習等について、各講習会受講後の実践期間等を考慮し、月2回程度のペースで実施することを目標値とした。	30回	A	A	研修は、栽培講習、経営講習を中心に年30回を計画的に実施することができた。	研修ほ場がすべて利用されるよう、研修生が参加しやすいカリキュラム（就農に向けた研修項目の追加など）を検討するほか、研修生募集の広報・PR強化に努める。							
143	2	(1)	②	再就職支援技能講座（介護職員初任者研修講座）	商業労政課	再就職支援技能講座の開催	市（委託）	離職者の再就職を支援する。	介護職員初任者研修講座の開催	介護職員初任者研修講座の開催	2回	2回	1,784	994	①申込者数 ②修了者数 ③修了者アンケートにおいて「就職活動に際し、資格が役に立った」との回答率	①53人②34人③83%	①61人②36人③87%	①47人②29人③75%	①52人②38人③65%	①②③前年度並みの申込者・修了者・就職率の確保を目指し、目標値を設定した。	①50人②33人③86%	①A②A③A	A	概ね目標値とおりの実績であったため。	介護職への就職を目指す人の応募を増やすため、周知活動の徹底に努めていく。							
144	2	(1)	②	清水産業・情報プラザ管理運営事業	産業振興課	清水産業・情報プラザ管理運営事業	市（直営・委託）	創業者の育成、産学連携を通じた産業振興を図るとともに、情報通信網を活用した市民生活の利便向上を図る。	①施設の維持管理 ②創業者育成会の運営 ③産学官講演会、情報化講演会等の実施。 ④製造現場改善支援事業	①創業者育成会に入居した新規創業者数 ②製造現場改善支援事業参加企業数	①7者②8者	①5者②14者	210,517	166,527	産学交流センター・清水産業・情報プラザの支援による新規創業者数、新商品開発、新分野進出等件数	30件	36件	—	—	指定管理業務仕様書に定める指標を目標値に設定した。	30件	A	A	目標値である30件を達成し、新規創業者、新分野進出を推進したため。	創業者やセミナー参加者からの要望に適切に応えられている一方で、創業者育成会の稼働率と会議室の利用者を増やすための広報活動が今度の課題である。また、創業者育成会の稼働率が低下しているため、利用者増加のための広報活動の強化を行っていく。							
（２）対話や地域交流の促進																																
①対話を通じた学びや地域・社会活動の促進																																
145	2	(2)	①	ここにわ交流会	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジ こ・こ・に推進事業	市（直営）	「こ・こ・に」における各人材養成講座の受講生及び修了生を対象とした交流会を実施し、受講生同士のヨコの関係だけでなく、修了生とのタテの関係、行政などとのナナメの関係も創出、強化することで、仲間づくりや学んだ成果を地域や社会での活動に活かせる場を提供する。	交流会の開催	交流会の実施	1回	1回	2,877千円の一部	267	参加者満足度	87.0%	86.0%	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、R1～R3は中止したため、H30とR4の実績を比較して高い値を基に設定した。	81.3%	A	A	成果指標の目標を9割以上達成し、目的に沿った人材を養成することができた。	令和5年度はポスターセッションの形式で行ったが、リピーター参加も考えられるので、形式を変えて実施していく。							
146	2	(2)	①	おしゃべりサロン事業	子ども未来課	おしゃべりサロン事業	市（直営）	身近な場所で子育て支援事業を実施することにより、子育て家庭の不安を軽減するなど、安心して子ども産み育てることができる環境を形成する。	子育てに関するノウハウを有する市内56カ所の公立認定こども園で親子のふれ合いや育児相談・育児講座を実施	事業実施箇所数（実施こども園数）	56カ所	49カ所	3,091	2,441	あそび・子育ておしゃべりサロン参加者（公立こども園）	5,500人	3,713人	2,905人	3,397人	コロナの5類移行に伴う利用者増加を見込み、コロナ禍（R1～4年）比2割増の利用者数を目標値とした。	4,425人	B	A	子育て支援センター併設園、休園週の園を除くこのこども園での子育て支援サービスの提供を実施することができた。成果指標は目標値を下回ったものの、対前年比1.9%以上増加していることから、評価はAとした。	利用者が安心できるイベントや講座、その広報等の実施方法を検討・実施していく必要がある。							
②学びをきっかけにした地域交流の活性化																																
147	2	(2)	②	生涯学習センター・交流館まつりの開催	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業 生涯学習交流館運営事業(清水区)	市（委託）	学習の成果発表の場や、地域における市民の交流の機会を設け、生涯学習施設を地域の中核施設とするため、センター・交流館まつり等を開催する。	各施設においてセンターまたは交流館まつりを開催	実施回数	全施設で各1回以上	全施設で各1回以上	指定管理料の一部	指定管理料の一部	①参加団体数 ②参加人数	①1,057団体②54,450人	①479団体②17,383人	①258団体②7,886人	①100団体②1,880人	新型コロナウイルス感染症の影響により、R2～R4は中止した施設が多くあったため、コロナ禍以前のR1の実績を基に設定した。	①971団体②29,039人	①A②C	B	参加人数は目標値を下回ったものの、参加した団体数は概ね目標値に達した。まつり等の開催が生涯学習団体の成果発表の場となり、学びを契機に地域とのつながりを持つことにつながった。	新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ参加人数を、徐々にでも回復させることが今後の課題となる。							

No.	施策の柱	大 施策	小 施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度
148	2	(2)	②	静岡市民文化祭の開催	文化振興課	静岡市民文化祭企画運営業務	市（委託）	広く市民に創作発表および鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化を一般に普及し市民文化向上を図る。	「静岡市民文化祭」の実施、委託契約	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①1件 ②1件 ③実施	①1件 ②1件 ③実施	3,522	3,520	静岡市民文化祭来場者数	14,000人	11,758人	10,658人	747人	令和元年以前の直近3か年における来場者数は約20,000人である。令和4年度は中止する事業はかきり少ないと想定されるため、この水準の7割程度まで来場者が回復すると見込み、20,000×0.7=14,000人を目標値として設定する。	12,524人	B	A	来場者は順調に回復しており、おおむね目標値を達成することができている。コロナ禍が明け、市民の文化活動の再開が進む中、日頃の成果を発表する場として、また、市民が多彩な文化に触れる機会を創出する事業として役割を果たすことができた。	類似事業である「静岡市芸術祭」との棲み分けを関係団体と協議しながら進めていく。
(3) 市民の自発的な地域・社会活動の促進																									
①人材活用場の提供																									
149	2	(3)	①	民間教育力活用事業の実施	学校教育課	次世代育成プロジェクト事業（民間教育力活用事業）	市（直営）	学校教育活動全般に民間教育力を活用することで、児童・生徒の体験的、問題解決的な学習の充実を図る。	①外部講師登録リストの管理 ②外部人材の活用支援	①人材リストの作成・周知 ②講師謝金の配当（各校）及び支出事務	①実施 ②実施	①実施 ②実施	3,012	2,412	外部人材を活用した授業の有効性があると回答した学校の割合	100%	100%	100%	100.0%	学校が希望する分野について、教員だけではできない発展的・体験的な授業を実施することができたかどうかを図るため、この目標値を設定した。	100%	A	A	感染症等の影響で民間教育力活用事業を実施できなかった学校を除く114校が全て有効性があつたと回答するなど、多様な外部人材の活用により、各教科・領域における学習の充実が図られたため「A」とした。	学校側が求める外部人材を紹介できるよう、需要のある分野について対応可能なスペシャリストの登録を今後も継続して推進していく必要がある。
150	2	(3)	①	【再掲】環境学習会の開催支援、実施	環境共生課	環境教育推進事業	市（直営・委託）	環境保全のために自ら行動する人を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域、学校、団体、行政などが相互に連携し、協働による環境学習の推進を図る。	①環境学習推進のための指導員の活用 ②自然観察会等への参加機会の創出	①環境学習指導員の派遣 ②各種環境学習会の開催	①220人 ②80回	①198人 ②73回	6,254	4,754	環境学習会等への参加者数	3,500人	2,830人	1,970人	1,741人	コロナウイルス感染症拡大前の参加者数を設定した。	3,229人	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、計画どおり事業を実施したため、参加者が増加した。	関係機関と協議し、事業内容の見直しや新規事業を実施するなど参加者の増加を図っていく。
②自発的な地域・社会活動の支援																									
151	2	(3)	②	まちづくり推進事業補助金交付事業	生涯学習推進課	まちづくり推進事業補助金	市（直営）	コミュニティの醸成と地域主体の住民参画による個性あるまちづくりを推進するため、年間を通して、計画的・継続的に様々な地域活動を支援する。	地域が主体的に行う「ふれあい事業」、「環境美化事業」、「子ども健全育成事業」、「教育文化事業」、「安全対策事業」、「福祉・健康事業」、「生活環境事業」、「文化伝承事業」の8事業に対して補助金を交付する。	まちづくり推進事業補助金交付事務の円滑な実施	19件	19件	15,510	14,790	実施事業数 ※19交付団体が、まちづくりの事業に幅広く取組んだ成果	153事業	153事業	130事業	127事業	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、昨年度並みの事業数を目標値として設定した。	157事業	A	A	新型コロナが5類に移行したこともあったが、事業実施にかかる助言等により、目標以上の事業数を達成することができた。	交付団体の申請担当者が変更すると関係書類の不備が多くなるため、説明会等で丁寧な指導・助言を行い適正な交付事務を実施する。
152	2	(3)	②	ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業	市民自治推進課	ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業	補助等（交付先）	社会的課題に取り組む市民活動団体等と寄附者の応援したい気持ちを繋ぐ架け橋に本市がなることで、活力ある地域づくりの促進を図る。	ふるさと応援寄附金等によるNPO等を指定した寄附制度を活用し、市民活動団体等に補助金を交付する。	①団体の募集及び審査 ②個別相談会の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	7,267	3,301	①寄附募集を行ったプロジェクト数 ②前年度にふるさと応援寄附金の募集を行ったプロジェクトの実現率	①8件 ②100%	①6件 ②87.5%	①8件 ②一	①16件 ②一	①過年度実績を参照し設定した。 ②ふるさと応援寄附金による支援が一助となり団体がプロジェクトを実現できていることを指標として設定した（R4から設定）。	①4件 ②100%	①C ②A	B	①は成果指標を下回ったが、②は対象となる全団体がプロジェクトを実施でき、目標値を達成したことから総合的にBと判断した。	集められた寄附金を補助金として交付することで、事業目的である市民活動団体の資金調達の支援に成果があった一方で、応募団体数は減少している。今後は募集期間を見直すことで年間を通じた相談、申請受付を可能とし、団体が応募しやすい環境を整える。
153	2	(3)	②	協働パイロット事業	市民自治推進課	協働事業促進事業	市（委託）	市と市民活動団体の協働を促進することによって、社会的課題のより効果的な解決を図る。	①協働パイロット事業の実施 ②職員への啓発	①NPO向け説明会開催回数 ②職員研修会開催回数	①2回 ②1回	①2回 ②1回	2,530	2,003	①パイロット事業応募数 ②市と市民活動団体の協働事業数	①13件 ②266件	①11件 ②277件	①12件 ②237件	①15件 ②222件	①過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標275事業（R8）に向けて着実に数値を増加させていくための指標として設定した。	①12件 ②282件	①A ②S	A	②は成果指標を達成し、①は成果指標を下回るものの目標に対して9割以上の数値となっていることから、総合的にAと判断した。	市民協働の推進にあたっては市職員が協働の重要性を理解し、積極的に取り入れていく必要があることから、過去の事例の紹介や研修等を通じた職員の協働意識の醸成に取り組む。
③学びを活かして活動する場所の提供																									
154	2	(3)	③	【再掲】生涯学習センターにおける貸館実施	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了	①11箇所 ②13件 ③完了	484,429	468,132	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①40.0% ②410.303人	①40.0% ②410.303人	①36.5% ②352.328人	①34.8% ②254.502人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①43.7% ②423,461人	①A ②A	A	職員が利用者に丁寧に應對し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。
155	2	(3)	③	【再掲】清水区生涯学習交流館における貸館実施	生涯学習推進課	生涯学習交流館運営事業（清水区）	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①20箇所 ②13件 ③完了	①20箇所 ②13件 ③完了	567,380	552,781	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①27.4% ②497.243人	①27.4% ②497.243人	①24.2% ②442.387人	①21.8% ②322.363人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①29.1% ②539,458人	①A ②A	A	職員が利用者に丁寧に應對し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。
156	2	(3)	③	【再掲】葵区生涯学習施設における貸館実施	生涯学習推進課	生涯学習交流館運営事業（葵区）	市（直営・委託）	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営（直営館の維持管理業務）	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②8業務	①120回 ②8業務	14,585	11,528	①平均稼働率 ②延べ利用者数	①4.0% ②9,122人	①4.0% ②9,122人	①3.6% ②10,925人	①3.1% ②6,228人	新型コロナウイルス感染症により令和2年度に大幅に稼働率及び利用者数が減少した。令和3年度以降は徐々に回復傾向のため、前年度以上前年度の実績値を目標値として設定	①4.8% ②8,803人	①S ②A	S	職員が利用者に丁寧に應對し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、各施設との連携を密にして取り組んでいく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度	
																	R4	R3	R2							
157	2	(3)	③	青少年研修センターの運営	青少年課育成	青少年研修センター運営費	市（直営）	青少年団体に施設を提供し、青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図る。	①施設の利用許可事務 ②施設の維持管理	施設の維持管理	実施	実施	149	110	延利用者数	665人	605人	884人	931人	登録団体数、利用者数は減少傾向にあるが、各団体の活動場所提供の維持のため、R4年実績の10%増を目標値として設定した。	779人	S	S	目標を超える利用者へ活動場所の提供ができたため。	青少年団体や学習サークルの活用を促進するため、施設の周知・広報を行い、利用者数増加への取組に努める。	
158	2	(3)	③	市民活動センターの運営	市民自治推進課	市民活動促進事業	市（直営・委託）	市民活動を促進することによって、市民自治によるまちづくりに寄与する。	①市民活動センターの運営 ②市民活動促進協議会の開催	①モニタリング調査の実施回数 ②センター連絡会議開催数 ③市民活動促進協議会開催数	①1回 ②6回 ③4回	①1回 ②6回 ③4回	68,824	64,670	①市民活動センター利用者数 ②市民活動センター新規登録団体数 ③市民活動センター利用者満足度調査で「満足」等と回答した人の割合	①50,318人 ②33団体/年 ③93%	①44,569人 ②42団体/年 ③89%	①39,451人 ②33団体/年 ③95%	①34,848人 ②32団体/年 ③95%	①R3とR4の実績値の増加率（12.9%）をR4実績値に乘じて目標値を設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標：R5～R8平均33団体/年に向けて着実に数値を維持させていくための指標として設定した。 ③過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。	①46,571人 ②52団体/年 ③92%	①A ②S ③A	A	②は成果指標を達成し、①③は成果指標を下回るものの目標に対して9割以上の数値となっていることから、総合的にAと判断した。	市民活動センター登録団体の構成員の高齢化等によって活動の継続が難しくなり、解散の相談を受けるケースも増えている。新規利用者の獲得に向け、講座やイベントを地域の関係団体や商店街等と連携しながら行い、市民が市民活動を身近に感じられる機会の創出に取り組む。	
159	2	(3)	③	【再掲】女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進（女性会館事業）	男女共同参画・人権政策課	女性会館運営管理	市（直営・委託）	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通して市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取り組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、LGBTQ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数（年報1件、月報12件） ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了	①1回 ②13件 ③完了	109,994	107,641	①新規利用者数（講座、相談、図書） ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80.0% ③16,500冊 ④実施	①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施（1,889件）	①884人 ②- ③16,396冊 ④実施（1,922件）	①957人 ②- ③16,583冊 ④実施（1,938件）	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した（相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する）。	①1,570人 ②96.9% ③17,503冊 ④実施（1,706件）	①S ②S ③S ④A	A	・事業全般的に、若年層（高校生、親子等）に向けた事業を重点的に取り組んだことで、新規利用者数が増加した。 ・図書の予約のPRに努めることにより、図書貸出冊数も例年を大きく上回った。 ・相談対応件数は若干減少したが、相談員の配置人数を増やし、支援体制とスキルアップに努めた。	・引き続きSNS等を積極的に活用し、講座・相談等を実施することにより、これまで女性会館を利用したことのない潜在利用者層（若年層）を掘り起こすこと及び新しい課題やより専門的な講座を実施することで男女共同参画の拠点施設としての機能をさらに充実させていくよう、指定管理者と協議等を行っていく。	
3 「学ぶ」「活かす」の循環を支える基盤の充実																										
(1) 学びやすい生涯学習施設等の整備																										
①生涯学習施設等の整備・維持・管理																										
160	3	(1)	①	【再掲】生涯学習センター運営事業	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①11箇所 ②13件 ③完了	①11箇所 ②13件 ③完了	484,429	468,132	①利用者満足度（職員の対応） ②受講生満足度 ③管理瑕疵による事故	①97.4% ②92.3% ③0件	①97.4% ②92.3% ③0件	①97.7% ②91.7% ③0件	①96.9% ②92.3% ③1件	①②直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ※①については令和元年度からアンケート実施方法を変更 ③適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故0件を目標として設定した。	①97.0% ②92.0% ③0件	①A ②A ③A	A	職員が利用者に丁寧に対応し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。	
161	3	(1)	①	【再掲】生涯学習交流館運営事業（清水区）	生涯学習推進課	生涯学習交流館運営事業（清水区）	市（直営・委託）	指定管理者のノウハウを活用しながら、市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営	①モニタリング実施箇所数 ②月例業務、年度報告書確認件数 ③翌年度協定締結準備	①20箇所 ②13件 ③完了	①20箇所 ②13件 ③完了	567,380	552,781	①利用者満足度（職員の対応） ②受講生満足度 ③管理瑕疵による事故	①93.0% ②94.3% ③0件	①99.3% ②94.3% ③0件	①89.3% ②95.3% ③0件	①89.2% ②93.3% ③0件	①②直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ③適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故0件を目標として設定した。	①99.3% ②94.3% ③0件	①S ②A ③A	A	職員が利用者に丁寧に対応し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、指定管理者との連携を密にして取り組んでいく。	
162	3	(1)	①	【再掲】生涯学習交流館運営事業（葵区）	生涯学習推進課	生涯学習交流館運営事業（葵区）	市（直営・委託）	市民の生涯学習活動の場を提供し、生涯学習への支援・協力を行うとともに推進を図る。	①各種講座等の開催 ②市民が安心して利用できる施設運営（直営館の維持管理業務）	①講座回数 ②施設維持点検等業務の完了	①110回 ②9業務	①120回 ②8業務	14,585	11,528	①受講生満足度 ②管理瑕疵による事故	①96.0% ②0件	①96.0% ②0件	①96.0% ②0件	①94.3% ②0件	①直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ②適正な施設の管理運営を目標とするため瑕疵による事故0件を目標として設定した。	①94.0% ②0件	①A ②A	A	職員が利用者に丁寧に対応し、施設管理を適切に行うことで、目標を概ね達成することができた。	社会情勢の変化に合わせた生涯学習施設の運営をしていく必要があるため、各施設との連携を密にして取り組んでいく。	
163	3	(1)	①	【再掲】学校等体育施設利用事業	スポーツ課振興	学校等体育施設利用事業	市・補助等（直営・交付先）	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の保守点検	①実施 ②1回	①実施 ②1回	68,965	66,266	延べ利用者数	170万人	1,849,563人	1,687,568人	1,569,032人	過去3年間（R2～R4）の平均値を目標値として設定した。	1,932,798人	S	A	利用者数の目標値を上回り、多くの市民が利用できたため。	中心部の学校の利用は飽和状態にあるため、近隣や山間部の協議会との連携を促し、多くの市民が利用できるように対応する。	
164	3	(1)	①	【再掲】こどもクリエイティブタウン/管理運営事業	商業労政課	こどもクリエイティブタウン/管理運営事業	市（直営・委託）	こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ。	①講座形式のものづくり体験等 ②模擬店舗形式での仕事体験等 ③商店街、企業との連携による仕事体験等	①指定管理料支払事務 ②定例会（12回）を通じた管理運営に係る指導・助言	①事務処理の円滑な実施 ②定例会への参加	①円滑な実施 ②定例会へ参加	114,949	117,342	①利用者数 ②利用者満足度	①100,000人 ②98.1%	①13,012人 ②99.7%	①6,605人 ②98.2%	①106,370人 ②96.6%	①指定管理業務仕様書で定める指標を目標値に設定した。（施設の受入可能人数を考慮し設定。） ②過去3か年の平均値を目標値に設定した	①75,746人 ②99.3%	①B ②A	A	年間利用者数に関してはコロナ感染症5類への移行に伴い、昨年よりは大幅に増加したが、目標達成に至らなかった。しかし、利用者満足度調査では例年同様高水準を維持しているため。	平日の利用者数を増加させるためにも、学校・団体利用の促進にも努めていく。	
165	3	(1)	①	【再掲】賤機都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	賤機都市山村交流センター管理経費	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	①1件 ②13回	24,987	23,670	利用者満足度	95.0%	100.0%	98.8%	94.8%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	97.2%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	利用者が安心して快適に過ごせるよう引き続き各施設の維持管理を徹底し、利用者の満足度を維持していく。	
166	3	(1)	①	【再掲】自然の家における施設運営の実施	教育総務課	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家管理事業	市（直営）	計画的に施設の修繕や点検を行い、安全で利用しやすい管理運営をする。	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の維持管理・施設運営	施設修繕等の実施回数	4回	13回	42,558	38,008	管理瑕疵による事故件数0件	0件	0件	0件	0件	直近3か年の平均値である0件を予想値として算出し目標値として設定した。	0件	A	A	施設を適正に維持管理し、管理瑕疵による事故がなかったため。	施設の経年劣化に対応するため、不具合を未然に防止する計画的な修繕を行い、コスト削減につなげる。	

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）										評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度							
																	R4	R3	R2										
167	3	(1)	①	児童館改修事業	子ども未来課	児童館改修事業	市（直営）	老朽化した児童館に必要な施設改修等を行い、長寿命化・耐震化を図る。	市内13館の児童館の改修工事等の実施	改修工事等の実施箇所数	2館	2館	20,722	15,240	施設や整備に起因する重大な事故件数	0件	0件	0件	0件	安心・安全な児童館として維持・管理し、事故発生を防ぐため	0件	A	A	適切な修繕工事などの実施により、施設や整備に起因する重大な事故を0件に抑えることができたため	改修計画に基づき、各館の現状を踏まえて必要な修繕工事を実施する。				
168	3	(1)	①	【再掲】清水庵原球場管理事業	スポーツ振興課	清水庵原球場管理事業	市（委託）	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	88,806	88,546	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①100% ②85.6%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①100% ②99.3%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。利用者層の変化に伴い、ニーズも変化していることから、適切な維持管理の実施に努めていく。				
169	3	(1)	①	【再掲】清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	スポーツ振興課	清水ナショナルトレーニングセンター管理運営事業	市（委託）	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	212,975	202,791	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.3% ②98.6%	①98% ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①94.8% ②98.7%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外の修繕については、必要性を判断し、対応していく。				
170	3	(1)	①	【再掲】スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	スポーツ施設維持管理事業	市（直営・委託）	市民がスポーツ、レクリエーション等に供するための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施	①3件 ②実施	244,521	235,090	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①95.9% ②96.0%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①97.4% ②94.5%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で修繕が必要となった場合は、必要性を判断し、対応していく。				
171	3	(1)	①	【再掲】青少年研修センターの運営	青少年育成課	青少年研修センター運営費	市（直営）	青少年団体に施設を提供し、青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図る。	①施設の利用許可事務 ②施設の維持管理	施設の維持管理	実施	実施	149	110	延利用者数	665人	605人	884人	931人	登録団体数、利用者数は減少傾向にあるが、各団体の活動場所提供の維持のため、R4年実績の10%増を目標値として設定した。	779人	S	S	目標を超える利用者へ活動場所の提供ができたため。	青少年団体や学習サークルの利活用を促進するため、施設の周知・広報を行い、利用者数増加への取組に努める。				
172	3	(1)	①	【再掲】総合運動場管理運営事業	スポーツ振興課	総合運動場管理運営事業	市（委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②（体育館含む） ②実施	①2件 ②（体育館含む） ②実施	386,462	383,425	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①98.6% ②93.1%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①99.0% ②91.5%	①S ②A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、陸上競技場3種公認に係る協議を踏まえた上での維持管理を実施していく。				
173	3	(1)	①	【再掲】体育館管理運営事業	スポーツ振興課	体育館管理運営事業	市（直営・委託）	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②（総合運動場含む） ②実施	①2件 ②（総合運動場含む） ②実施	659,360	635,124	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.6% ②100%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①97.6% ②98.6% ③完了	①S ②A ③A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、計画修繕以外で老朽化等により、修繕が必要となった場合は、優先順位を付け、対応することで安全・安心な施設の提供に努めていく。				
174	3	(1)	①	【再掲】登呂博物館管理運営業務	文化財課	登呂博物館管理運営業務	市（直営）	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。	○幅広い分野の展示 ○講座・講演会等教育普及事業の実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業の開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②25回 ③2回	①4回 ②26回 ③2回	68,519	64,993	博物館の入館者数	169,000人	161,181人	118,132人	97,168人	登呂遺跡発見80周年事業を実施することを鑑み、前年度実績の5%増を目標値として設定。	165,820人	A	A	特別展、企画展、教育普及事業等を実施した。目標値を下回る（1.9%減）結果となったが、昨年度以上の入館者数を確保することができた。	弥生時代の生活体験を通じて遺跡の魅力をより深く理解してもらうため、教育普及事業の実施など情報発信を取り組んでいく。				
175	3	(1)	①	【再掲】日本平運動公園管理事業	スポーツ振興課	日本平運動公園管理事業	市（委託）	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。	施設管理を行うとともに、Jリーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	138,788	138,695	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①96.1% ②99.2%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①96.7% ②99.6%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、新スタジアムの動向を踏まえた上での維持管理を実施していく。				

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度			
																	R4	R3	R2						
176	3	(1)	①	【再掲】ふれあい健康増進館ゆ・ら管理運営事業	スポーツ振興課	ふれあい健康増進館ゆ・ら管理運営事業	市（委託）	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。	施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム賃貸借契約	①2件 ②実施	①2件 ②実施	229,631	225,532	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90.0% ②90.0%	①97.8% ②99.6%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安全安心な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。（契約差金等考慮）	①98.1% ②99.9%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。また、コロナ禍が収束し、今後は利用者の増加が見込まれることから、受付窓口の混雑緩和のため、オペレーションの見直し等を検討していく。
177	3	(1)	①	【再掲】まちは劇場コンサート事業	文化振興課	まちは劇場コンサート事業	市（委託）	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサートを行い、音楽文化を通してまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサートの実施	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②1件 ③1件	①2件 ②13件 ③13件	21,033	20,959	①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施園数 ③親子コンサート応募人数	①8校 ②14園 ③3,700人	①8校 ②18園 ③5,969人	①8校 ②18園 ③6,964人	①6校 ②24園 ③6,734人	①予算積算上の実施分を完全実施するため、8校を目標値として設定した。 ②上に同じく、14園を目標値として設定した。 ③実施するホールの定員数（静文：1,968人、マリナート：1,513人、AOI：618人×2回）4,717人の80%である3,773人を予想値として算出し、3,700人を目標値とした。	①8校 ②19園 ③8,520人	①A ②S ③S	A	訪問コンサートでは多くの学校・こども園に応募いただき実施することが出来た。本格的なオーケストラの曲目から子供たちに馴染みのある曲まで迫力ある生演奏を子供たちに届けることができた。	親子コンサートの応募人数は、目標値は大きく上回っているものの、年々応募人数は減少していることから、広報活動に努めるなどし、集客を図っていく。訪問コンサートについては、毎年多くの学校、こども園から応募があるため、未実施校・園を優先に早期の実施を図っていく。
178	3	(1)	①	【再掲】三保松原文化創造センター管理運営	文化財課	三保松原文化創造センター管理運営	市（直営・委託）	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、三保松原と他の文化や芸術と融合させた松原文化を創造していく。	○建物の保守、管理 ○展示の保守、管理 ○企画展の開催	①年間を通しての開館 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③4回	①実施 ②実施 ③4回	32,286	27,829	来館者数	440,000人	423,100人	253,302人	322,643人	前年度（40万人）の10%増を目標値とする。	500,462人	S	A	年4回の企画展のほか、関連イベントなどを開催した。しかしながら、コロナ禍の影響が改善しつつある社会的要因が主であり、当初の数値目標に近づけていくためには、更なる取り組みの充実を図ることが必要と認識しているため。	三保松原と施設への関心を高めるため、企画展の開催に加え、幅広い年代が参加できる関連イベントや市民団体等と連携した展示を実施し、更なる集客を目指す。
179	3	(1)	①	【再掲】薬科都市山村交流センター管理経費	中山間地振興課	薬科都市山村交流センター管理経費	市（委託）	農業体験等の交流場所としての施設及び憩いの場を提供するとともに、必要な講座、教室等を開催すること等により、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図る。	管理運営委託（指定管理）	①指定管理件数 ②定期報告及び年度報告	①1件 ②13回	①1件 ②13回	27,039	26,131	利用者満足度	93.8%	95.5%	97.0%	93.6%	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	97.5%	A	A	適切な施設運営に加え、講座やイベント等を工夫しておこなったことなどにより、目標値を達成することができたため、A評価とした。	都市部と中山間地域の交流を促進させる講座を一層充実させるため、地域の歴史や文化、伝統食の再調査、またはそれに精通した人材の発掘に努める必要がある。
180	3	(1)	①	【再掲】科学への関心を高めるための各種事業の実施（静岡科学館事業）	文化振興課	静岡科学館管理運営事業	市（直営・委託）	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	指定管理者制度による施設、展示物の維持管理を行うとともに科学の実演会及び講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	312,950	311,802	①年間来館者数 ②事業満足度※R5から（R4までは連携事業回数）を指標としていた。）	①250,000人 ②95.0%	①161,063人 ②184回	①110,813人 ②185回	①76,132人 ②114回	指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①190,290人 ②99.1%	①B ②S	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、事業の中止は無かったものの、来館者数は伸び悩み、目標値に届かなかったが、施設・展示物の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。また事業者満足度については目標値を上回る結果となった。	SNSや展示物を活用した広報活動等により来館者の増加に努めていく。
181	3	(1)	①	【再掲】芹沢銈介美術館管理運営事業	文化振興課	芹沢銈介美術館管理運営事業	市（直営）	静岡市名誉市民であり型絵染の人間国宝・芹沢銈介の芸術を永く後世に伝える。美術に関する知識の向上と文化の発展に寄与する。	芹沢銈介の型絵染の作品等や芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催件数 ③開館日数	①4回 ②15回 ③257日	①4回 ②10回 ③257日	83,133	70,383	①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①30,000人 ②96.6%	①32,363人 ②95.8%	①28,013人 ②95.2%	①11,994人 ②98.8%	①コロナ前の実績を考慮し設定した。 ②観覧者アンケートの満足度の直近3か年の平均を考慮し設定した。	①30,925人 ②95.4%	①A ②A	A	新型コロナウイルス感染症拡大前の実績を考慮した目標設定としたが、期待どおりの来館者を得ることができた。	来館者のさらなる増加に向けて、新たな情報発信に取り組みなど、美術館の認知度向上に努めていく。
182	3	(1)	①	【再掲】市民ギャラリー事業の実施	文化振興課	市民ギャラリー管理運営事業	市（委託）	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①1件 ②12件 ③1件	①1件 ②12件 ③1件	7,004	6,972	年間利用率	68.36%	50.60%	59.10%	34.55%	令和元年度の実績値（68.36%）を基に設定。	50.30%	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大前と同等の実績を見込んでいたものの、利用率が回復せず目標値に届かなかった。	利用率の向上を図るため、引き続き広報手段の検討、照明設備等展示室のリニューアルを順次実施していく。
183	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 清水文化会館管理運営事業	文化振興課	清水文化会館管理運営事業	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都市心の賑わい創出を図る。	PFI・指定管理者制度（利用料金制）による館の維持管理・運営（設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等）	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数（モニタリング支援） ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①1件 ②1件 ③3回 ④15回 （維持管理・運営）1回（財務）	①1件 ②1件 ③3回 ④15回 （維持管理・運営）1回（財務）	262,358	290,367	①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	①500,000人 ②70.0%	①245,961人 ②75.1%	①181,116人 ②68.2%	①73,954人 ②44.0%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業運営業務仕様書」における事業期間第3ターム（令和4年度～令和8年度）で設定した目標値。	①412,659人 ②73.6%	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、利用者数が伸びず、目標値に届かなかったが、その影響を除けば、多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供や施設・設備の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。	多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、引き続き広報等により集客を図り、施設の利用率向上に努めていく。
184	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡音楽館管理運営事業	文化振興課	静岡音楽館管理運営事業	市（直営・委託）	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が音楽文化に触れる機会を提供するため、各種コンサートや講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	336,109	322,718	①施設利用率（年間平均） ②定員に対するコンサート入場者数の割合（年間平均）	①84.0% ②70.0%	①76.2% ②64.7%	①68.7% ②54.7%	①60.1% ②75.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①77.9% ②67.1%	A	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、事業の中止も無く利用率は毎年上昇傾向にあるものの、目標値に届かなかった。	施設利用者の裾野を拡大するため、市民の鑑賞機会拡大や地域の音楽家の支援・育成を図り、事業内容を充実させていくことで、施設利用率向上とコンサート入場者数の増加に努めていく。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）										評価及び次年度以降に向けた課題・改善など		
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）							評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容		
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値				達成度	
185	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市美術館管理運営事業	文化振興課	静岡市美術館管理運営事業	市（直営・委託）	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	指定管理者制度による施設の維持管理を行うとともに、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展示や講座を実施する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	380,931	354,307	①累計入館者数（150万人・R2～R6） ②展覧会事業における来場者満足度（年間平均）	①30万人（150万人/5年） ②85% ①202,136人 ②95.5% ①191,275人 ②94.8% ①235,248人 ②92.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①286,128人 ②96.0%	A	A	成果指標である年間入館者数は目標を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響からは回復傾向にある。また、展覧会満足度は目標を大きく上回って達成することができた。活動指標も着実に達成しており、事業計画に従い概ね良好に実施できたと考える。	効果的な広報手段を検討することや、事業内容の充実を図ることにより、入館者数の増加に努めていく。				
186	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 静岡市民文化会館管理運営事業	文化振興課	静岡市民文化会館管理運営事業	市（直営・委託）	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営（受付・案内・利用料徴収・設備の管理・事業等）修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務報確認・検査件数（年報1件、月報12件）	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	234,772	245,030	①年間利用者数 ②年間施設利用率	①50万人 ②70% ①388,974人 ②62.1% ①234,948人 ②58.9% ①111,400人 ②44.6%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	①375,944人 ②62.9%	①B ②B	B	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限が解除されたものの、目標値を下回ったが、過去2年と比べると利用者数、利用率は改善されており、多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供や施設・設備の適切な維持管理等を適正に実施することができた。	今後も多彩な事業を展開し、施設利用も含めた広報活動に努めるとし、利用者増加及び利用率向上を図っていく。				
187	3	(1)	①	【再掲】市民の芸術文化の振興を図る各種事業の実施 中勤助文学記念館管理運営事業	文化振興課	中勤助文化学記念館管理運営事業	市（委託）	作家中勤助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動の場として広く市民の文化向上に寄与すること。	「中勤助文学記念館」の日常管理運営及び中勤助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数（月報12件）	①8件 ②12回	①8件 ②12回	7,792	7,364	年間来場者数	2,116人 1,886人 1,695人 1,252人	令和元年度の実績値（2,116人）を基に設定。	2,178人	A	A	活用事業及び顕彰事業を通して、新規顧客層の取り込みに一定の成果を上げることができ、新型コロナウイルス感染症拡大前の来場者数を上回った。	顕彰事業及び記念館活用事業の実施により、新規顧客層の獲得を含め、引き続き来館者の増加に努めていく。				
188	3	(1)	①	【再掲】市民活動センターの運営	市民自治推進課	市民活動促進事業	市（直営・委託）	市民活動を促進することによって、市民自治によるまちづくりに寄与する。	①市民活動センターの運営 ②市民活動促進協議会の開催	①モニタリング調査の実施回数 ②センター連絡会議開催数 ③市民活動促進協議会開催数	①1回 ②6回 ③4回	①1回 ②6回 ③4回	68,824	64,670	①市民活動センター利用者数 ②市民活動センター新規登録団体数 ③市民活動センター利用者満足度調査で「満足」等と回答した人の割合	①50,318人 ②33団体/年 ③93% ①44,569人 ②42団体/年 ③89% ①39,451人 ②33団体/年 ③95% ①34,848人 ②32団体/年 ③95%	①R3とR4の実績値の増加率（12.9%）をR4実績値に乗じて目標値を設定した。 ②市民活動促進基本計画の目標R5～R8平均33団体/年に向けて着実に数値を維持させていくための指標として設定した。 ③過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。	①46,571人 ②52団体/年 ③92%	①A ②S ③A	A	②は成果指標を達成し、①③は成果指標を下回るものの目標値に対して9割以上の数値となっていることから、総合的にAと判断した。	市民活動センター登録団体の構成員の高齢化等によって活動の継続が難しくなり、解散の相談を受けるケースも増えている。新規利用者の獲得に向け、講座やイベントを地域の関係団体や商店街等と連携しながら行い、市民が市民活動を身近に感じられる機会の創出に取り組む。				
189	3	(1)	①	【再掲】児童館運営事業	子ども未来課	児童館運営事業	市（委託）	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供する。	市内13館の児童館の運営	適切な運営施設数	13館	13館	245,757	225,230	①利用者満足度 ②利用者数	①90% ②240,000人 ①90.7% ②197,229人 ①87.3% ②182,947人 ①84.8% ②135,981人（4、5月閉所）	①指定管理協定により定めている目標値を設定した。 ②ウィズコロナの状況において、地域の児童健全育成の拠点として、利用者に対し実施可能な事業・適切な遊びの提供をすることができた。一方で人員配置の課題もあったことから、評価はAとした。	①97.2% ②247,297人	①S ②A	A	利用者数、満足度とともに前年度を上回りの目標を達成し、地域の児童の健全育成の拠点として、利用者に対し実施可能な事業・適切な遊びの提供をすることができた。一方で人員配置の課題もあったことから、評価はAとした。	実施可能なイベントや講座等を今後も検討し、計画的に子育て支援事業の提供を実施していく。				
190	3	(1)	①	【再掲】駿府匠宿運営事業	産業振興課	駿府匠宿運営経費	市（直営・委託）	今川、徳川時代から受け継がれてきた伝統工芸とその復興した近代産業をテーマにした体験型施設「駿府匠宿」を運営し、創作体験や各種展示を通じて、来場者が工芸に親しみ、歴史に触れる機会を提供して、本市地場産業の振興を図る。	①「駿府匠宿」の管理・運営を指定管理者制度のもとに実施 ②本市伝統工芸や地場産業を体験できる場を提供	①協定締結事務件数 ②年度評価回数 ③定例会実施回数	①1回 ②1回 ③12回	①1回 ②1回 ③12回	235,013	234,857	①創作体験者数 ②利用者満足度	①22,400人 ②90%以上 ①29,513人 ②97.8% ①22,512人 ②95.0% ①14,093人 ②99.5%	①②指定管理業務仕様書に規定する創作体験者22,400人、利用者アンケートによる満足度90%以上を目標値として設定した。	①29,863人 ②96.4%	S	S	指定管理者の創意工夫により創作体験者数が目標値を大きく上回り達成したため。	創作体験者数の減少がないように創作体験の内容の更新を今後も行っていく。				
191	3	(1)	①	【再掲】女性をとりまく諸問題に関する学習・活動の推進（女性会館事業）	男女共同参画・人権政策課	女性会館運営管理	市（直営・委託）	男女共同参画社会実現のための拠点施設である女性会館を管理運営し、男女共同参画に係る各種事業を通して市民に広く啓発するとともに、女性をとりまく諸問題の解決に取組む市民グループの活動を支援する。	①指定管理者との協定の締結、男女共同参画に関する講座の開催、団体活動の支援、女性を取り巻く諸問題や男女共同参画に関する情報収集発信のための図書コーナーの運営、施設管理 ②女性会館相談室の開設：女性のための総合相談・法律相談、LGBTQ相談の実施 ③指定管理事業の年度評価の実施	①指定管理業務のモニタリング実施回数 ②指定管理業務報告確認・検査回数（年報1件、月報12件） ③年度評価の実施	①1回 ②13件 ③完了	①1回 ②13件 ③完了	109,994	107,641	①新規利用者数（講座・相談、図書） ②講座受講者の理解度 ③図書コーナーの図書貸出冊数 ④女性相談の適切な実施	①1,100人 ②80.0% ③16,500冊 ④実施 ①1,284人 ②97.3% ③17,384冊 ④実施（1,889件） ①884人 ②16,396冊 ④実施（1,922件） ①957人 ②16,583冊 ④実施（1,938件）	①、②協定書の数値を目標値とした。 ③図書コーナーの本の貸出しにより男女共同参画の意識向上が図られることから、過去3年間の平均値を参考に目標値に設定した。 ④相談の適切な実施を指標として設定した（相談の適切な実施がなされているかについては、拡大ケースカンファレンスに出席し確認する）。	①1,570人 ②96.9% ③17,503冊 ④実施（1,706件）	①S ②S ③S ④A	A	・事業全般的に、若年層（高校生、親子等）に向けた事業を重点的に取り組んだことで、新規利用者数が増加した。 ・図書の予約のPRIに努めることにより、図書貸出冊数も例年を大きく上回った。 ・相談対応件数は若干減少したが、相談員の配置人数を増やし、支援体制とスキルアップに努めた。	・引き続きSNS等を積極的に活用し、講座・相談等を実施することにより、これまで女性会館を利用したことがない潜在利用者層（若年層）を掘り起こすこと及び新しい課題やより専門的な講座を実施することで男女共同参画の拠点施設としての機能をさらに充実させていくよう、指定管理者と協議等を行っていく。				
192	3	(1)	①	【再掲】東静岡地区「アート＆スポーツ／ヒロバ」開設・運営事業	企画課	東静岡地区「アート＆スポーツ／ヒロバ」開設・運営事業	市・補助等（直営・交付先）	「文化・スポーツ等の拠点」として位置付けた東静岡市有地を、本格的な整備方針が決定するまで、「賑わいつくりの実験場」として活用する。	「まちが劇場プロジェクト」及び「2020年東京オリパラ」を見据えた取組として、大道芸・ダンス・音楽等の様々なジャンルとともに、ローラースポーツやホビー等のイベントを実施する「アート＆スポーツ／ヒロバ」を運営する。	①実行委員会の開催 ②各作業部会の開催	①2回 ②7回	①2回 ②11回	31,340	31,340	①東静岡アート＆スポーツ／ヒロバのローラースポーツパーク利用者人数 ②芝生広場でのイベント開催数	①29,947人 ②10回 ①27,225人 ②12回 ①28,004人 ②24,790人	①前年度実績の110%を目標とする。 ②例年開催する8回に加え、イベント誘致等による、2回を加えた10回とした。	①26,189人 ②13回	A	A	ローラースポーツパークの利用者数は目標に達しなかったものの、芝生広場でのイベントが目標を上回ったため。	パーク利用者数が前年と比較し約4%減少した。2024年にはパリ五輪を控えることから、無料体験会、各種大会等を実施し、新規利用者獲得に向けて取組を講じていく。				

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など			
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度			
193	3	(1)	①	【再掲】文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	産業政策課	文化・クリエイティブ産業振興センター管理運営事業	市（直営・委託）	文化・クリエイティブ産業の活性化を通じ、新産業の創出や地域の賑わいづくりを行う	①大道芸、劇団などのパフォーマンスアーツを支援する取組 ②クリエイターの集積と育成を図る取組 ③文化・クリエイティブ産業を振興するための啓蒙・啓発を進める取組（展示会・セミナー等） ④企業とクリエイターとのマッチングを促進する取組	①指定管理関係業務（協定締結、年度評価、指定管理料支払業務等） ②管理運営に係る指導、助言	①事務処理の円滑な実施 ②月例会議（PD（プログラムディレクター）会議）への参加	①事務処理の円滑な実施 ②12回	90,645	89,594	①利用者数 ②利用者満足度 ③クリエイターと企業のマッチング件数 ④クリエイターの集積数	①40,000人 ②90% ③6件 ④3者	①43,820名 ②90% ③16件 ④0者	①38,191人 ②86% ③10件 ④5者	①33,864人 ②86% ③8件 ④4者	指定管理業務仕様書【R5～R9】で定める指標を目標値に設定した。（過去の実績等を踏まえて各指標を設定。）	①58,251名 ②85.6% ③12件 ④4者	A	A	①コロナが5類となり、イベントの参加者数が回復し、目標値を達成することができた。 ②は、85.6%と目標値を下回ったが、セミナーやイベントに関しては、目標値の90%を上回った。 ③コロナが5類となり、講演やワークショップに関連する内容のマッチングが増加したため、目標値を大きく上回る結果となった。 ④コロナが5類となり、補助金利用者が戻ったことや施設の積極的な周知もあり、当該年度の実績は4となった。	・今後もクリエイター向けのスキルアップと一般市民への啓蒙・啓発の双方を軸に事業の実施を推進する。 ・クリエイターの集積については、他の家賃補助制度との整合性を図りつつ、利用者に適した補助制度を紹介できるよう周知を行っていく。
194	3	(1)	①	【再掲】埋蔵文化財センター管理運営事業	文化財課	埋蔵文化財センター管理運営事業	市（直営）	埋蔵文化財センターの円滑な管理運営と共に出土遺物の調査整理と展示公開を行い、市内の埋蔵文化財について顕彰する。	①発掘調査した遺跡の資料整理作業と出土遺物の保管・管理を行う。 ②整理作業の終了した遺物の展示や遺跡の紹介を行う。	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②3回	①426点 ②3回	50,164	48,561	①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②2,276人	①2件 ②2,168人	①1件 ②1,389人	①2件 ②893人	①施設設置の本来目的である出土資料の整理作業の結果として作る、年報など報告書完成件数を目標値とした。 ②調査成果を公開した企画展開催等による年間来館者数を、前年度5%増を目標値とした。	①3件 ②1,800人	①S ②B	A	来館者が目標よりも少なかったが、年度途中に急ぎよ依頼の入った発掘調査報告書を刊行して当初予定件数以上の報告書を作成、刊行した。	実施した発掘調査の規模によって実測する遺物の特徴が異なるが、安定的に実測を進めて、報告書にまとめられるよう、正確・迅速な実測作業のスキルを磨き、報告書を作成する体制を維持、強化していく。
195	3	(1)	①	【再掲】老人憩いの家における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	老人憩いの家運営事業	市（直営・委託）	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等の場の提供し、老人の心身の健康増進を図る。	①各種相談事業、健康増進、教養の向上、レクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	①随時 ②随時	22,956	22,556	利用者満足度	90.0%	98.3%	99.1%	95.2%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	99.2%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。
196	3	(1)	①	【再掲】世代間交流センターにおける高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	世代間交流センター管理運営事業	市（直営・委託）	世代間の交流活動を通じて、豊かな地域社会の形成に資する。	①高齢者と地域住民等が相互に交流することを促進し、地域の伝統文化を承継する事業及び世代間の交流に係る教養の向上、レクリエーション等の場を提供する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	①随時 ②随時	58,917	58,710	利用者満足度	90.0%	99.1%	98.4%	90.0%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	98.6%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。
197	3	(1)	①	【再掲】老人福祉センター等における高齢者の社会参加促進事業	高齢者福祉課	老人福祉センター運営事業	市（直営・委託）	老人に対し、各種相談に応ずるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し活動の指導及び推進を図る。	①各種相談事業及び健康増進、教養向上及びレクリエーションに関する事業の実施 ②施設の維持管理	①モニタリング、指定管理者との協議 ②施設修繕実施	①随時 ②随時	①随時 ②随時	251,371	247,433	利用者満足度	90.0%	96.7%	97.1%	90.4%	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度90.0%を目標値とした。	97.7%	S	S	指定管理業務が適正に実施されたことにより、利用者満足度が目標値を大きく上回ったため。	利用者満足度を維持するため、指定管理者と連携し、適切な管理運営を行っていく。
②生涯学習施設等の使いやすさの向上																									
198	3	(1)	②	生涯学習施設の運用改善事業	生涯学習推進課	事務事業総点検上の業務の一部	市（直営・委託）	生涯学習施設の利用者の視点に立ち、団体登録制度や予約制度の見直し、自由利用スペースの設置など、施設利用における利便性向上のための運用改善を指定管理者とともに行う。	①施設の利用に係る制度の見直し ②施設利用の利便性向上	ワーキンググループの開催	3回	1回	0	0	①生涯学習センター利用者満足度（管理運営全体） ②清水区生涯学習交流館利用者満足度（管理運営全体） ③実施した運用改善案	①95.7% ②92.0% ③1件	①94.8% ②99.1% ③1件	①96.5% ②89.1% ③1件	①95.9% ②87.8% ③1件	①②直近3か年の平均値と前年度実績を踏まえて設定した。 ③複数ある案件のうち、必ず1件は実施を目指すものとして、目標に設定した。	①97.0% ②99.3% ③2件	①A ②A ③A	A	農科生涯学習センターに自由利用スペースを設置し、利便性向上に務めた。また、利用に係る制度の見直しを実施し、早期優先利用制度を本格施行した。	生涯学習施設の利便性向上のため、指定管理者と連携を密にして利用者視点に立った運用改善に取り組んでいく。
(2) 生涯学習施設等のデジタル環境の整備																									
①生涯学習施設等のデジタル環境の整備																									
199	3	(2)	①	生涯学習施設のデジタル化の推進	生涯学習推進課	事務事業総点検上の業務の一部	市（直営・委託）	リモートやオンデマンドなどのデジタル技術を活用した学習機会の提供のために、生涯学習施設のデジタル学習環境を整備する。	施設のオンライン環境整備	モバイルWi-Fiルーターの設置台数	8台	8台	118	118	延べ利用回数	150回	128回	—	—	令和4年度6月から実施しており、10か月分の実績から12か月換算した数値を参考に目標として設定した。	183回	S	S	主催講座、貸館利用者への貸出し共に、利用頻度が高まっており、目標を大きく上回る利用回数となったため。	地域BWAの電波が入らない施設があるため、他の電波帯のモバイルWi-Fiルーターを検討していく。
②生涯学習施設等の予約システムの管理・運用																									
200	3	(2)	②	生涯学習施設予約システムのDX化の推進	生涯学習推進課	生涯学習情報システム運営	市（直営）	施設予約のシステム化により、事務の効率化、迅速化とともに、利用者の利便性向上を図る。	①予約システム及び機器の賃借業務 ②新予約システムへの更新	①システム稼働状況の報告確認回数 ②新予約システム開発事務の進捗管理	①12回 ②完了	①12回 ②完了	6,779	6,730	①計画的な停止等を除く年間のシステム稼働率 ②新予約システム開発業者との契約	①100% ②契約完了	①100% ②—	①100% ②—	①100% ②—	①直近3か年の実績を基に設定した。 ②令和5年度に契約し、令和6年10月までに新システムを稼働させる予定	①100% ②契約完了	①A ②A	A	施設予約システムは適正な点検・運用により目標を達成することができた。	現システムはキャッシュレスに対応しておらず、利用者は使用料を窓口現金払いする必要があるため、システム更改に向けて、キャッシュレス化を含む利用者・管理者ともに使いやすいシステムの導入を目指し協議を進めていく。
201	3	(2)	②	スポーツ施設予約システムの管理	スポーツ振興課	スポーツ施設予約システム管理事業	市（直営・委託）	インターネットを活用したサービスを提供することにより、各種スポーツ施設予約の利便性向上を図る。	①利用者登録 ②抽選申込み ③空き施設検索、予約申込 ④利用許可書発行	①利用者登録 ②システム運用の円滑な実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	15,726	14,554	アクセス件数	2,037.920件	1,948.684件	1,933.070件	1,632.701件	R2は災害や新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館等により、アクセス件数が少なかったため、R4・R3のアクセス件数平均値の5%増を目標値として設定した。	2,336.767件	S	A	必要な契約等の処理を遅滞なく実施し、円滑な運用を実施することができ、アクセス数においても目標値を上回ったため。	総合評価落札方式を採用して令和5年度に決定した事業者との調整を引き続き進めることで、新システムへの移行を円滑に実施し、利用者の利便に資するシステム運用を行う。

No.	施策の柱	大施策	小施策	照会時の提案事業	事業概要（全体）				活動の状況（アウトプット）			投入コスト（インプット）		成果（アウトカム）								評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
				事業名称	所属名	事務事業名	事業の実施主体	事業目的	事業内容	活動指標（アウトプット指標）			事業費		成果指標（アウトカム指標）								評価	評価理由	今後の課題と課題解決に向けた取組内容	
										指標名	当該年度の目標値	実績値	予算額（千円）	決算額（千円）	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度				
R4	R3	R2																								
（３）生涯学習に関する啓発や情報発信																										
①学ぶことの大切さの啓発																										
202		3	(3)	①	Reまなびシンポジウム&ポスターエキシビジョン	生涯学習推進課	Reまなびプロジェクト推進事業	市（直営・委託）	人生100年時代に必要な知識やスキルを習得する「大人の学び直し」（リカレント教育やリスキリング等）について、市民に意識の醸成を図るとともに、学習機会を提供する。	①市民へ周知・啓発し、意識を醸成 ②学習機会の提供	①Reまなびシンポジウムの開催及び月間の実施 ②生涯学習施設でのReまなび講座の実施	①1回及び1箇月間 ②32施設で実施	①1回及び1箇月間の実施 ②32施設で実施	836	736	①Reまなびシンポジウムの参加者のうち、学んだことを仕事や就職活動に活かせると思った人の割合 ②受講生満足度	①80.0% ②90.0%	—	—	—	①②新規事業のため、当該類似の指標を参考に設定した。	①98.0% ②90.7%	①S ②A	A	シンポジウム及び月間を実施することができ、成果指標①、②ともに達成し、総合的に見て大人の学び直しの重要性への理解促進と学習機会を提供することができた。	周知、啓発事業の効果測定に課題があるため、実施手法の見直しをしていく。
②学習情報などの効果的な発信																										
203		3	(3)	②	ここからネットの運用	市民自治推進課	市民活動支援システム運用等業務	市（委託）	市民が自分の住む地域で行われている、まちづくり活動に参加を促すための情報を提供する。	静岡市市民活動ポータルサイト「ここからネット」の運用	①定期報告によるアクセスレポートの報告確認回数 ②特集記事の掲載	①12回 ②2回	①12回 ②2回	2,985	2,929	静岡市市民活動ポータルサイト「ここからネット」の ①年間総アクセス件数 ②情報を公開している団体数	①176,000件 ②761団体	①167,620件 ②761団体	①152,691件 ②728団体	①172,805件 ②702団体	①前年度比5％増を指標として設定した。 ②過去3年間の平均の実績値と前年度の実績値のうち高い値を目標値として設定した。	①197,111件 ②747団体	①S ②A	A	①は成果指標を達成し、②は成果指標を下回るものの目標に対して9割以上の数値となっていることから、総合的にAと判断した。	市民活動団体の利用頻度を高めるとともにサイトの認知度向上を図るため、操作手順を示した動画の公開や市民活動センターを通じたサイトの利用周知等によって情報更新を促していく。
（４）学習・活動相談体制の整備																										
①学習相談・活動相談の充実																										
204		3	(4)	①	生涯学習施設における学習相談の実施	生涯学習推進課	生涯学習センター運営事業	市（委託）	生涯学習施設において、学習機会や、サークル、講師の紹介など、生涯学習活動を行ううえでの様々な相談を受ける。	各生涯学習センターの窓口における相談実施	相談を実施している生涯学習施設数	11施設	11施設	指定管理料の一部	指定管理料の一部	相談件数	7,700件	6,088件	7,340件	9,672件	直近3か年の平均値を目標値として設定した。	5,127件	B	B	全館で行われているが、目標件数には達しなかった。	相談件数を伸ばすためには、学習相談の制度を今以上に周知する必要がある。
（５）生涯学習推進体制の充実																										
①行政・企業・高等教育機関・NPO等との連携																										
205		3	(5)	①	【再掲】大学連携事業の実施	生涯学習推進課	大学連携事業	市（直営）	大学との連携による学習機会の提供により、市民の専門化、高度化した学習要求に応える	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①市民大学リレー講座の開催 ②生涯学習施設・大学共催公開講座の開催 ③大学連携生涯学習会議の開催	①6回 ②20回 ③2回	①6回 ②24回 ③2回	310	296	①市民大学リレー講座受講生満足度 ②生涯学習施設・大学共催公開講座受講生満足度	①82.3% ②91.3%	①82.3% ②91.3%	①81.3% ②84.1%	①82.0% ②90.2%	①②直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	①80.5% ②89.2%	①A ②A	A	成果指標の目標に見合った十分な成果が出ており、市民に高度で専門的な学習機会や情報を提供することができた。	社会情勢の変化に合わせた市民への高度で専門的な学びの機会が求められているため、高等教育機関である大学との連携を強化し、市民への高度で専門的な学習機会や情報の提供に取り組んでいる。
②市における推進体制の充実																										
206		3	(5)	②	静岡シチズンカレッジこ・こ・こに推進事業	生涯学習推進課	静岡シチズンカレッジこ・こ・こに推進事業	市（直営）	庁内各課で実施する人材養成事業を束ね、共通の方針や仕組みを整備することで、一体的に市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成する。	①市民向けの事業周知 ②全市一体的に人材養成事業を進めるため、こ・こ・こに関係課で構成するシチズンシップ部会で連携を強化 ③修了生の活動支援	①市民向けの事業周知に利用した手法数 ②シチズンシップ部会の開催回数 ③修了生への活動支援の手法数	①10手法 ②3回 ③3手法	①10手法 ②2回 ③3手法	2,877	2,219	①静岡シチズンカレッジこ・こ・こを受講した人のうち、シチズンシップが身についた人の割合 ②修了者数	①98.0% ②540人	①97.0% ②508人	①98.5% ②357人	①98.5% ②262人	①直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。 ②令和5年度の講座定員に、修了率（修了者数／定員）の直近3か年の平均値78.5%を乗じた数値とした。	①98.2% ②582人	①A ②S	A	31講座すべて開催することができ、成果指標①、②ともに目標を達成し、総合的にみて地域や社会のために行動したいという高い意識を持った人材を養成することができた。	社会情勢の変化に合わせた人材養成が必要であることから、登載講座や講座内容を見直ししていく。
207		3	(5)	②	生涯学習推進事業（生涯学習推進審議会）	生涯学習推進課	生涯学習推進事業（生涯学習推進審議会）	市（直営）	第3次生涯学習推進大綱に基づき、市の生涯学習に関する施策について、調査審議し、総合的かつ計画的に生涯学習の推進を図る	①第3次生涯学習推進大綱の進捗管理 ②生涯学習審議会を開催し、生涯学習推進事業等の意見聴取	①第3次生涯学習推進大綱後期計画登載事業の進捗確認事業数 ②生涯学習推進審議会の開催回数	①148事業 ②3回	①208事業 ②3回	683	451	生涯学習施設の利用者数（貸館）	85万人	81万人	58万人	114万人	直近3か年の平均値と前年度実績を比較して高い値を基に設定した。	97万人	S	A	成果指標は目標を大幅に上回り達成したが、生涯学習審議会により充実した意見聴取ができるよう工夫が必要ため。	生涯学習審議会では、報告事項が多く、十分な意見聴取ができていないため、運営方法等を見直し、充実した意見聴取ができるよう取り組んでいる。
208		3	(5)	②	市政出前講座の実施	広報課	市政出前講座	市（直営）	市民参画による活力ある行政を展開するため、職員自らが地域へ出向き、対話を通して市民の考えや期待に触れる機会を設け、市民との信頼関係を築き、市民の市政に対する理解を深めるとともに、市政運営をより身近に感じてもらうための事業を行う。	(１) 対象者：静岡市民、市内への通勤・通学者のグループ（10人以上） (２) 開催日：平日の10時～21時 (３) 内容：各課が提示した講座メニューから選択 (４) 費用等：講師料、資料代は無料（その他は申込者が負担）	市政出前講座の開催回数	337件	624件	0	0	講座終了後のアンケートで講座の理解度を尋ねる設問に「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の割合	100%	100%	100%	100%	過去3ヶ年の実績値を参考にした。	100%	A	A	開催回数は前年度（475回）から大幅に増加した。参加者からも「大変勉強になった」など好評のコメントを得ている。	例年6月までに当該年度の実施講座を公開しているが、市民からは公開までに講座の実施予定等について多数の問い合わせが寄せられている。そのため、公開までの手順を改めることで、講座の公開時期を早める（5月中を予定）。